

取扱説明書

EH-TW5350

Home Projector



お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

各説明書の使い方

本機の説明書は次のとおり構成されています。

安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。



取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。



説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意

本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項やより詳しい説明を記載しているページを示しています。
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例：[画質] - [カラーモード]
ボタン名	リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。 例： ^{Menu} ○ボタン

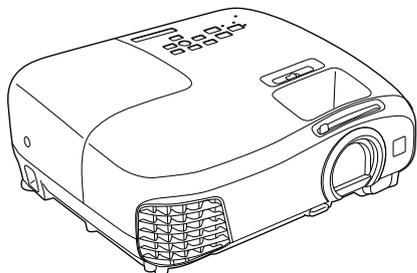
「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほか同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

同梱品の確認

下記をご覧になり、同梱品を確認してください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

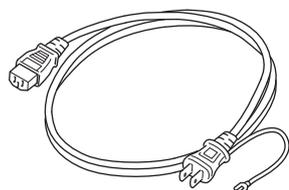
プロジェクター本体



リモコン  [p.12](#)



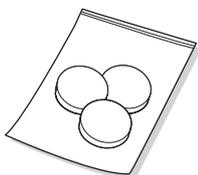
電源コード



単3形マンガン乾電池（2本）  [p.25](#)

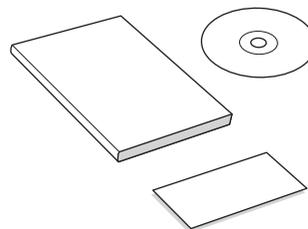


逆さ設置用ゴム足



取扱説明書  [p.1](#)

保証書



説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方	1
説明書中の表示の意味	2
安全に関する表示	2
一般情報に関する表示	2
「本機」または「本プロジェクター」という表記について	2
同梱品の確認	3

はじめに

本機の特長	7
臨場感あふれる3D立体表示	7
モバイルデバイスの画面を投写	7
かんたん、楽に設置・投写・片付け	7
すばやく映像調整	7
映像をより楽しむための機能	8

各部の名称と働き	9
前面/ 上面	9
操作パネル	10
リモコン	12
背面	14
底面	15

使い始めるまでの準備

設置しよう	16
投写映像と本機の設置位置	16
スクリーンに対して平行に設置する	16
本機の左右の高さを合わせ水平に設置する	16
いろいろな設置方法	17
テーブルなどに置いて投写する	17
天吊りして投写する	18
投写サイズを調整する	18
機器と接続しよう	20
ビデオ機器の接続	20
コンピューターの接続	20
スマートフォン・タブレット端末の接続	21
USB機器の接続	21

外部スピーカーの接続	22
Bluetooth®機器の接続	22
リモコンを準備しよう	25
リモコンに電池をセットする	25
リモコンの操作範囲	26
操作可能範囲（左右）	26
操作可能範囲（上下）	26

基本操作

映像を投写しよう	27
電源を入れる	27
目的の映像が映らない場合	28
ホーム画面の使い方	28
電源を切る	29
投写映像を調整しよう	30
テストパターンを表示する	30
ピントを調整する（フォーカス調整）	30
映像のサイズを調整する（ズーム調整）	30
映像の高さを調整する	31
本機の傾きを調整する	31
ゆがみを補正する	31
自動で補正する（自動タテ補正）	32
手で補正する（スライド式ヨコ補正）	32
手で補正する（タテヨコ補正）	32
音量を調節する	33
映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）	34

画質の調整

画質の調整をしよう	35
映り具合を選ぶ（カラーモード）	35
画面をフルやズームに切り替える（アスペクト）	36
シャープネスの調整	37
映像の解像感を調整する（イメージ強調）	37
オートアイリス（自動絞り）を設定する	38
フレーム補間を設定する	38
色を調整をしよう	39
色温度を調整する	39

RGBを調整する（オフセット・ゲイン） . . .	39	コンピューターの無線LAN設定をする	58
色相・彩度・明度の調整	39	Windowsで無線LANを設定する	58
登録した画質で映像を見る（メモリー機能）	41	OS Xで無線LANを設定する	59
メモリーを登録する	41	無線LANのセキュリティを設定する	59
メモリーを呼び出す	41	Epson iProjectionで投写する	59
メモリーを削除する	42	スマートフォンを使って操作する（リモコン機能）	61
メモリー名称変更	42	Screen Mirroringで投写しよう	63
便利な機能		Screen Mirroringを設定する	63
3D映像を楽しもう	44	Windows 8.1で投写する	64
3D映像を視聴するための準備	44	Intel WiDiソフトウェアを使って投写する	65
3D映像が見えないときは	44	Miracast機能を使って投写する	66
3Dメガネを使用する	45	環境設定メニュー	
3Dメガネを充電する	45	環境設定メニューの機能	68
3Dメガネをペアリングする	46	環境設定メニューの操作	68
3Dメガネを装着する	46	環境設定メニュー一覧	69
3Dメガネのインジケータの見方	46	画質メニュー	69
2D映像を3Dに変換して見る	47	映像メニュー	70
3D映像視聴に関する注意	48	設定メニュー	72
HDMIリンクで操作しよう	51	拡張設定メニュー	74
HDMIリンク機能	51	ネットワークメニュー	75
HDMIリンク設定	51	情報メニュー	79
接続する	52	初期化メニュー	79
写真データを再生しよう（スライドショー）	53	困ったときに	
再生できるデータ	53	故障かなと思ったら	80
スライドショーの実行	53	インジケータの見方	80
スライドショーの動作設定	54	異常/警告時のインジケータの状態	80
2種類の映像を同時に投写しよう（2画面）	55	正常動作時のインジケータの状態	82
2画面で投写する	55	Screen Mirroringインジケータの状態	83
2画面の設定を変更する	55	無線LANインジケータの状態	83
2画面を終了する	55	インジケータを確認してもわからないとき	84
ネットワーク上のプロジェクターを利用する		現象の確認	84
無線LAN経由で投写しよう	56	映像に関するトラブル	85
プロジェクターのネットワーク設定をする	56	投写開始時のトラブル	88
		リモコンでのトラブル	88
		3Dでのトラブル	88
		HDMIのトラブル	89

ネットワークに関するトラブル 90
Bluetooth機器のトラブル 92
その他のトラブル 93
Event ID について 94

メンテナンス

お手入れの方法 96
各部の掃除 96
 エアフィルターの掃除 96
 本体の掃除 96
 レンズの掃除 97
 3Dメガネの掃除 97
消耗品の交換時期 97
 エアフィルターの交換時期 97
 ランプの交換時期 97
消耗品の交換 98
 エアフィルターの交換方法 98
 ランプの交換方法 99
 ランプ点灯時間初期化 100

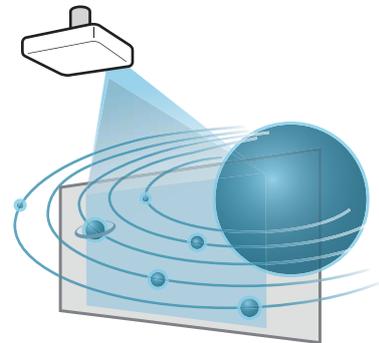
付録

オプション・消耗品一覧 102
 オプション品 102
 消耗品 102
対応解像度一覧 103
 コンピューター映像（アナログRGB） ... 103
 コンポジットビデオ 103
 HDMI1/HDMI2入力信号 103
 MHL入力信号 103
 3D入力信号 HDMI 104
 3D入力信号 MHL 104
仕様一覧 105
外形寸法図 106
**安全規格対応シンボルマークについて
..... 107**
用語解説 109
一般のご注意 111
 商標について 112

本機の特長

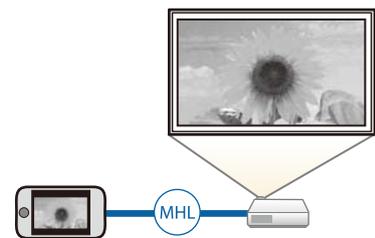
臨場感あふれる3D立体表示

3D機能により、3Dコンテンツや3Dカメラで撮影した映像を、大迫力の投写映像で楽しめます。☞ [p.44](#)



モバイルデバイスの画面を投写

本機のHDMI1/MHL端子とスマートフォンやタブレット端末を、市販のMHLケーブルで接続できます。



Screen Mirroringを使うと、Intel® WiDiまたはMiracastに対応のスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと本機を無線で接続できます。☞ [p.63](#)

Epson iProjectionを使うと、本機とスマートフォンやタブレット端末を無線で接続できます。Epson iProjectionはApp StoreまたはGoogle playから無料でダウンロードできます。☞ [p.59](#)



かんたん、楽に設置・投写・片付け

- 大きなスクリーンにも短距離で投写可能
- レバー1つでかんたんに高さを調整

すばやく映像調整

本機をスクリーンに対して平行に設置できないときにも、ヨコ補正スライダーを使って、台形にゆがんだ映像をすばやく調整できます。スライダーで調整するため、感覚的な操作で補正できます。☞ [p.32](#)

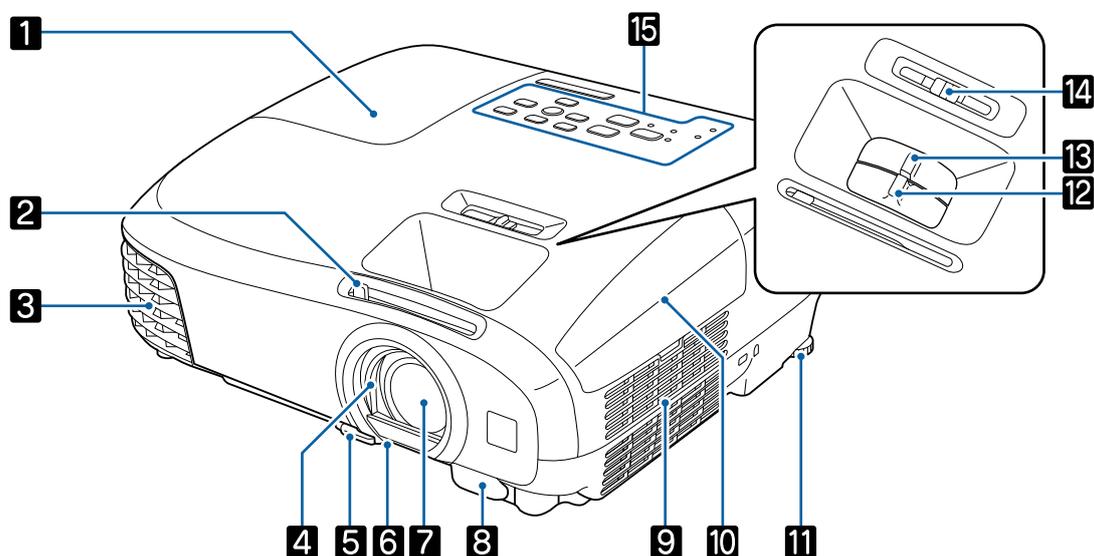
映像をより楽しむための機能

その他にも、次のような多彩な機能があります。

- 内蔵スピーカーで音声再生。外付けスピーカーがなくても音声を楽しめます。
- Bluetooth®オーディオ機器へ音声を転送。Bluetooth®対応のスピーカーやヘッドフォンを無線で接続して音声を楽しめます。👉 [p.22](#)
- USBメモリーを接続するだけで静止画を楽しめるスライドショー。デジタルカメラを接続すれば、カメラの写真を「スライドショー」で楽しめます。👉 [p.53](#)
- スマートフォンから遠隔操作。Epson iProjectionを使うと、スマートフォンやタブレット端末からプロジェクターを操作できます。👉 [p.61](#)

各部の名称と働き

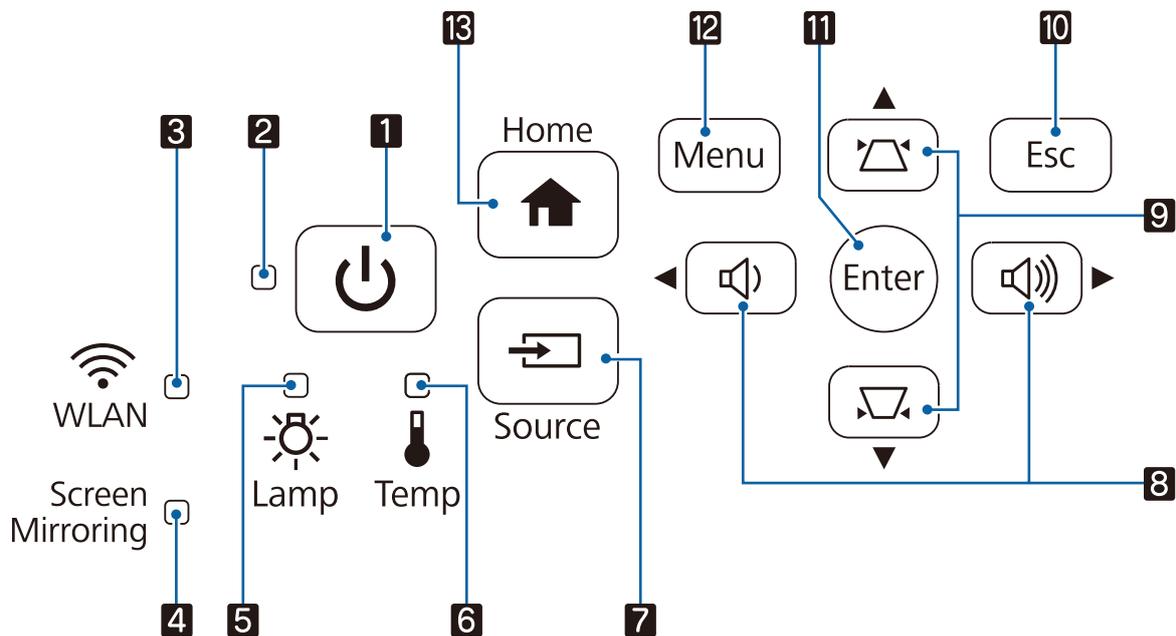
前面/ 上面



名称	機能
1 ランプカバー	ランプの交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☛ p.99
2 スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせて、レンズカバーの開閉をします。 投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。☛ p.34
3 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。</p> </div>
4 レンズカバー	本機を使用しないときに閉じ、レンズを傷や汚れから保護します。 ☛ p.29
5 フロントフットレバー	フットレバーを押して、フロントフットの高さを調整します。☛ p.31
6 フロントフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて映像の高さを調整します。 ☛ p.31
7 投写レンズ	ここから映像を投写します。
8 リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☛ p.26
9 吸気口	本機内部を冷却するための空気の吸い込み口です。
10 エアフィルターカバー	エアフィルターの交換時に、このカバーを開けてエアフィルターを取り出します。☛ p.98

名称	機能
11 リアフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☞ p.31
12 フォーカスリング	映像のピントを合わせます。☞ p.30
13 ズームリング	映像のサイズを調整します。☞ p.30
14 ヨコ補正スライダー	投写映像のヨコ方向のゆがみを補正します。☞ p.32
15 操作パネル	本機の操作をします。☞ p.10

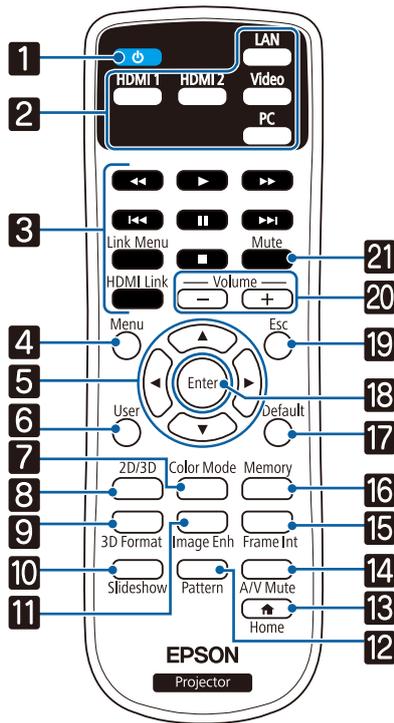
操作パネル



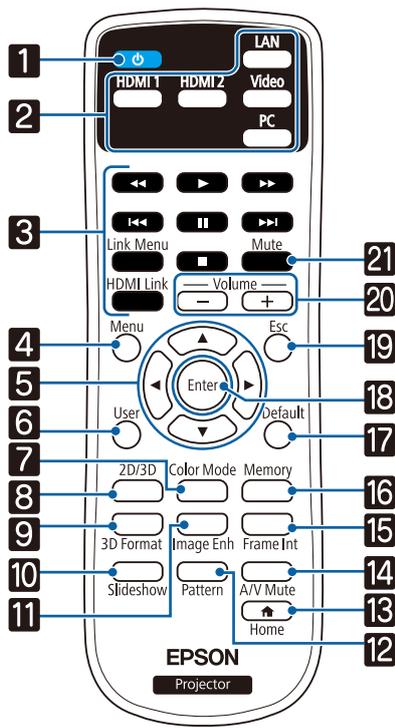
ボタン/インジケータ	機能
1 	プロジェクターの電源をオン/オフします。☞ p.27 他のインジケータとの組み合わせで、本機の状態を点灯・点滅で示します。☞ p.82
2  オペレーションインジケータ	本機のウォームアップ中、クールダウン中に青色で点滅します。他のインジケータとの組み合わせで、本機の状態を点灯・点滅で示します。☞ p.80
3  WLAN	無線LANのアクセス状況を点灯・点滅で示します。☞ p.83
4  Screen Mirroring	Screen Mirroringの使用状況を点灯・点滅で示します。☞ p.83
5  Lamp	ランプ交換の時間に達するとオレンジ色に点滅します。他のインジケータとの組み合わせで、本機に発生した異常を点灯・点滅で示します。☞ p.80
6  Temp	内部が高温になるとオレンジ色に点滅します。他のインジケータとの組み合わせで、本機に発生した異常を点灯・点滅で示します。☞ p.80
7  Source	各入力端子からの映像に切り替えます。☞ p.28

ボタン/インジケータ	機能
8 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を調整します。 Bluetoothオーディオ機器の音量は調節できません。 メニュー表示中に押すと、メニュー項目や調整値を選択します。 ☛ p.33 台形補正画面の表示中は、ヨコ方向の台形補正をします。☛ p.32
9 	<ul style="list-style-type: none"> 投写映像のゆがみを調整します。 メニュー表示中に押すと、メニュー項目や調整値を選択します。 ☛ p.32
10 	メニューを表示中に、1つ上の階層に戻ります。☛ p.68
11 	メニューを表示中に、機能や設定値を選択します。☛ p.68
12 	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。☛ p.68
13 	ホーム画面を表示/終了します。☛ p.28

リモコン

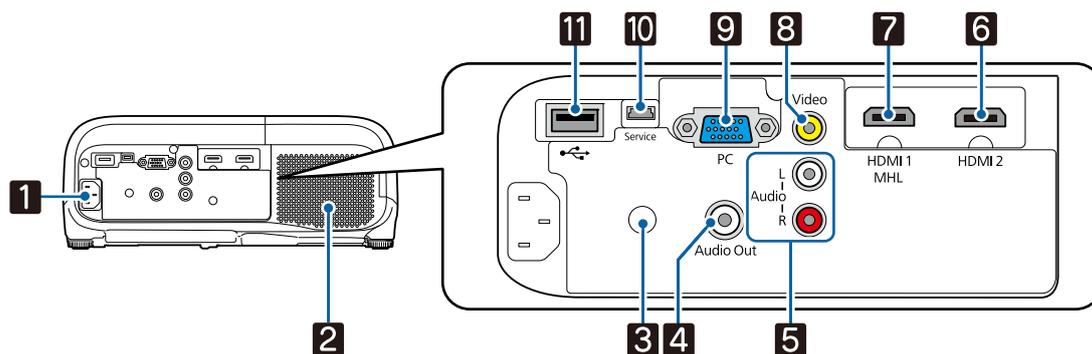


ボタン	機能
1	プロジェクターの電源をオン/オフします。 ☛ p.27
2	各入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.28 LAN ボタンを押すと、入力ソースがLANまたはScreen Mirroringに切り替わります。
3	<ul style="list-style-type: none"> • [HDMIリンク] が [オン] の場合 接続機器一覧を表示します。その他のボタンを押すと、HDMI CEC規格またはMHL規格に対応した接続機器の再生、停止、音量調整などができます。 ☛ p.51 • [HDMIリンク] が [オフ] の場合 HDMIリンクの設定メニューを表示します。
4	環境設定メニューを表示/終了します。環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定ができます。☛ p.68
5	メニュー項目や調整値を選択します。 ☛ p.68
6	[ユーザーボタン] に割り当てた機能を実行します。☛ p.72
7	[カラーモード] を切り替えます。 ☛ p.35
8	[3D表示] をオート/3D/2Dに切り替えます。 ☛ p.47
9	3Dフォーマットを変更します。☛ p.44
10	USB入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ p.53
11	[イメージ強調] メニューを表示します。 ☛ p.37
12	テストパターンを表示/終了します。 ☛ p.30



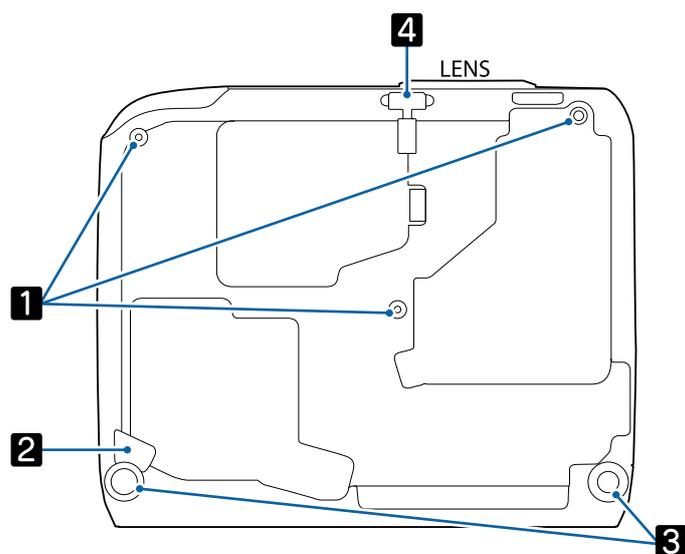
ボタン	機能
13 Home	ホーム画面を表示/終了します。☞ p.28
14 A/V Mute	映像と音声を一時的に遮断/解除します。☞ p.34
15 Frame Int	フレーム補間の強度を設定をします。☞ p.38
16 Memory	メモリーの登録、呼出しをします。☞ p.41
17 Default	メニューの調整画面が表示されているときに押すと、調整値が初期値に戻ります。☞ p.68
18 Enter	メニューの表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。☞ p.68
19 Esc	メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☞ p.68
20 - +	音量を調整します。☞ p.33 Bluetoothオーディオ機器の音量は調節できません。
21 Mute	音声を一時的に遮断/解除します。☞ p.34

背面



名称	機能
1 電源端子	電源コードを接続します。☛ p.27
2 スピーカー	本機の内蔵スピーカーです。音声を再生します。
3 リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☛ p.26
4 Audio Out端子	再生中の音声を外部スピーカーに出力します。☛ p.22
5 Audio (L-R)端子	Video入力端子、PC入力端子に接続した機器の音声を入力します。 ☛ p.20
6 HDMI2入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.20
7 HDMI 1/MHL入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.20 その他にも、MHLに対応したスマートフォンやタブレット端末を接続します。☛ p.21
8 Video入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ出力端子と接続します。☛ p.20
9 PC入力端子	コンピューターのRGB出力端子と接続します。☛ p.20
10 Service端子	サービス端子です。通常は使用しません。
11 USB入力端子	USBメモリーやデジタルカメラなどのUSB機器を接続し、ストレージデバイス内の画像をスライドショーで表示します。☛ p.21

底面



名称		機能
1	天吊り固定部 (3箇所)	天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛ p.102
2	セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。
3	リアフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☛ p.31
4	フロントフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて映像の高さを調整します。 ☛ p.31

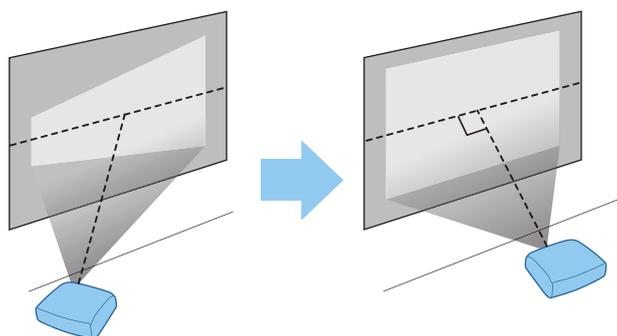
■ 設置しよう

投写映像と本機の設置位置

プロジェクターは以下のように設置してください。

■ スクリーンに対して平行に設置する

スクリーンに対して本機を斜めに設置すると、投写映像が台形にゆがみます。スクリーンと本機が平行になるよう設置位置を調節してください。



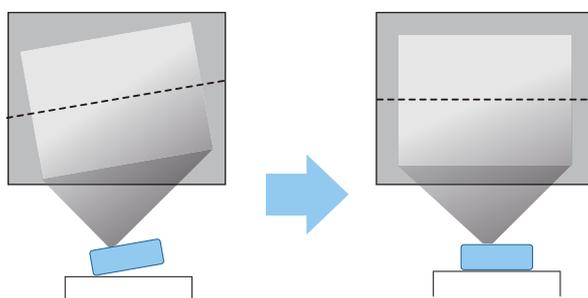
本機を平行に設置できないときは、ヨコ補正スライダーまたはタテヨコ補正を使ってゆがみを補正できます。👉 [p.31](#)

■ 本機の左右の高さを合わせ水平に設置する

本機を傾けて設置すると、投写映像も傾きます。

本機の高さが左右で異ならないよう、水平に設置してください。

本機を水平に設置できないときは、リアフットで本機の傾きを調整します。👉 [p.31](#)



いろいろな設置方法

警告

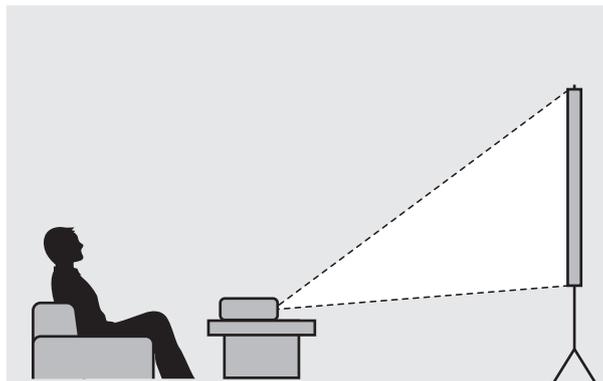
- 天井への取り付け（天吊り設置）工事には特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 不安定な棚の上や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 棚の上など高い位置に設置するときは、地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと落下によりけがや事故の原因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

- 湿気やホコリの多い場所・油煙やたばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。
- 本機を縦向きに置いて投写しないでください。故障の原因となります。
- エアフィルターは約3か月に一度は掃除してください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。  [p.96](#)

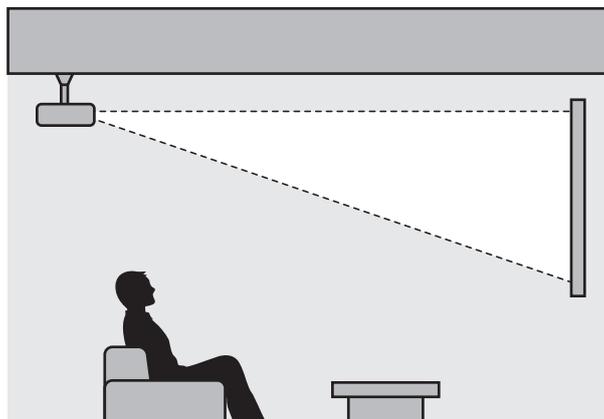
■ テーブルなどに置いて投写する

リビングテーブルや低めの棚などに設置して、映像を投写します。



■ 天吊りして投写する

オプションの天吊り金具で天吊り設置して、映像を投写します。



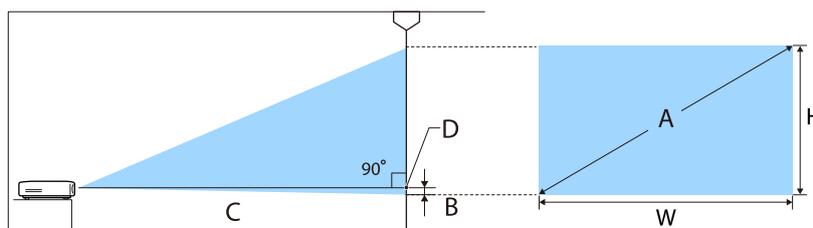
 天吊りして投写する場合は、[設置モード] を [フロント・天吊り] または [リア・天吊り] に設定します。  [拡張設定] - [設置モード] p.74

投写サイズを調整する

本機をスクリーンから離すほど、投写映像は大きくなります。

次の表を参考にして、映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

 ゆがみを補正すると投写映像が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせる場合は、投写距離を長くしてください。



B レンズの中心から、投写映像の下端までの距離

D レンズの中心

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		投写距離 (C)		距離 (B)
A	W x H	最短 (Wide)	最長 (Tele)	
30型	66 x 37	80	96	-3
40型	89 x 50	107	129	-5
50型	111 x 62	135	162	-6
60型	133 x 75	162	195	-7
80型	177 x 100	217	261	-9
100型	221 x 125	272	327	-11

16:9 スクリーンサイズ		投写距離 (C)		距離 (B)
A	W x H	最短 (Wide)	最長 (Tele)	
150型	332 x 187	410	492	-17
200型	443 x 249	547	658	-23
250型	553 x 311	685	823	-28
300型	664 x 374	823	988	-34

機器と接続しよう

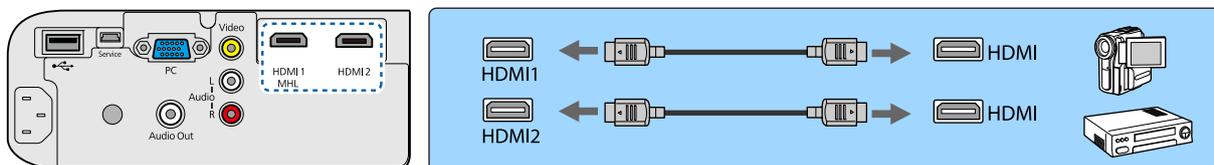
注意

- 接続機器のケーブルを本機に接続してから本機の電源コードを接続してください。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと、機器の破損や故障の原因になります。

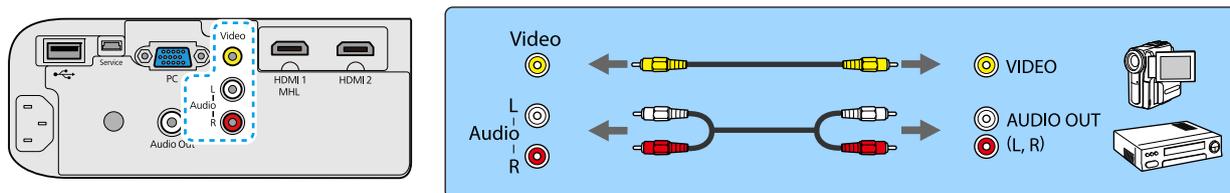
ビデオ機器の接続

DVDプレーヤーやビデオなどの映像を投写するには、次の方法で接続します。

HDMIケーブル（市販品）を使用するとき



ビデオケーブル（市販品）を使用するとき

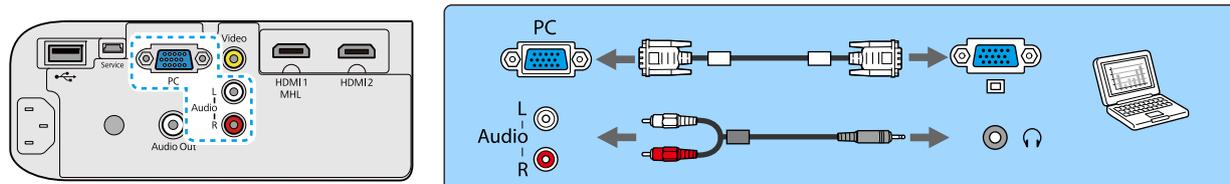


- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。
- 音声为正しく出力されないときは、[音声出力機器] の設定をご確認ください。 ➡ [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] p.72

コンピューターの接続

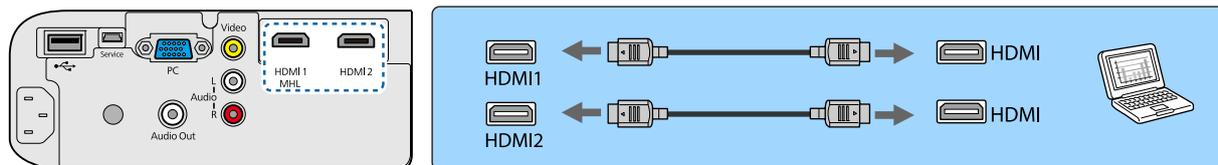
コンピューターの映像を投写するには、次の方法で接続します。

コンピューターケーブル（市販品）を使用するとき



音声を出力するときは、「抵抗なし」と表記された2RCA↔ステレオミニプラグオーディオケーブルを接続してください。

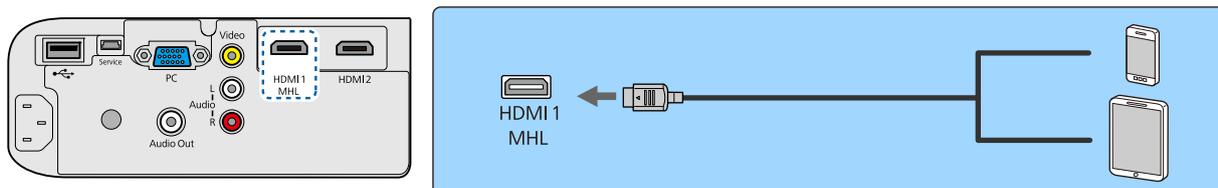
HDMIケーブル（市販品）を使用するとき



スマートフォン・タブレット端末の接続

MHL対応のスマートフォンやタブレット端末を接続できます。

市販のMHLケーブルで、スマートフォンまたはタブレット端末のmicroUSB端子と本機のHDMI1/MHL端子を接続します。



映像の投写中は、接続しているスマートフォン、タブレット端末が充電されます。

注意

- 必ずMHL規格に対応したケーブルで接続してください。MHL規格に対応していないケーブルを接続すると、スマートフォンやタブレット端末の発熱、液モレ、破裂など火災の原因になる場合があります。
- MHL-HDMI変換アダプタ（市販品）を使用して接続すると、本機のリモコンを使ったスマートフォン、タブレット端末の操作および充電ができないことがあります。

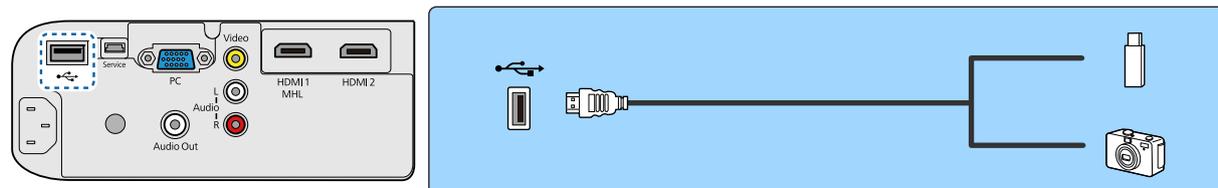


- 動画を再生するなど使用電力が大きい場合は、充電されないことがあります。
- 本機がスタンバイ状態のときや、スマートフォンやタブレット端末のバッテリー残量がないときは充電されません。

USB機器の接続

USBメモリー、USB対応のデジタルカメラなど、USB機器を接続できます。

USB機器に同梱のUSBケーブルで、USB機器と本機のUSB端子（TypeA）を接続します。



USB機器を接続したときは、USBメモリーやデジタルカメラ内の画像ファイルをスライドショーで再生します。  [p.53](#)

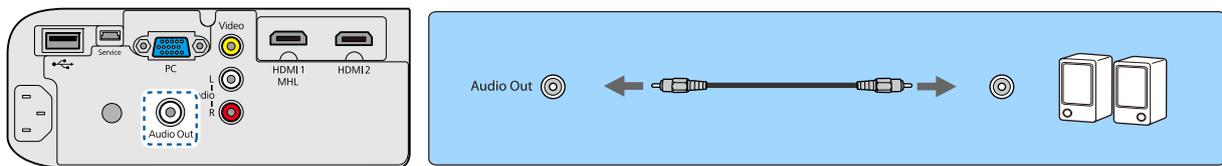
投写終了後は、本機からUSB機器を取り外します。電源スイッチがある機器は、USB機器の電源をオフにしてから取り外してください。

注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSB機器を直接本機に接続してください。
- デジタルカメラの接続には、各機器指定のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブルの長さが3mを超えると、スライドショーが正しく動作しないことがあります。

外部スピーカーの接続

外部スピーカーから音声を出力するには、市販のオーディオケーブルで、外部スピーカーと本機のAudio Out端子を接続します。



- 外部スピーカーから音声を出力するときは、[音声出力機器] を [プロジェクター] に設定します。☞ [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.72](#)
- [音声出力機器] が [AVアンプ] に設定されていても、アンプが接続されていない場合は、音声は外部スピーカーから出力されます。

Bluetooth®機器の接続

Bluetooth 対応のオーディオ機器 (A2DP準拠) や3Dメガネ (Bluetooth 3DS Profile準拠) を接続できます。

3Dメガネの接続方法は、下記をご覧ください。

☞ 「3Dメガネをペアリングする」 [p.46](#)



HDMI1入力端子/HDMI2入力端子/Audio (L-R)端子/Screen Mirroringに入力されている音声を、Bluetooth対応のスピーカーやヘッドフォンから出力します。

- 1 ^{Menu} ボタンを押して、[設定] - [Bluetooth] - [Bluetoothオーディオ] の順でメニューを表示します。

- 2   ボタンで [オン] を選択し、 ボタンを押して決定します。



- 3 接続するBluetooth機器を、ペアリング可能な設定にします。
Bluetooth機器の設定方法は、Bluetooth機器に付属の取扱説明書を参照してください。

- 4 [Bluetooth機器検索] を選択します。
接続可能な機器が一覧で表示されます。

- 5   ボタンで接続するBluetooth機器を選択し、 ボタンを押して接続します。



本機の電源を入れ直したときは、最後に接続した機器に自動的に接続します。
接続機器を切り替えるときは、手順3から行います。

-  [音声出力機器] を [AVアンプ] に設定しているときは、Bluetoothオーディオ機器から音声を出力できません。Bluetoothオーディオ機器から音声を出力するときは、[音声出力機器] を [プロジェクター] に設定してください。  [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.72](#)
- Bluetooth オーディオ機器で再生される音声には遅延が生じます。

Bluetoothの仕様

バージョン	Bluetooth Ver 3.0
出力	Class 2
通信可能距離	約10m
対応プロファイル	A2DP
コンテンツ保護	SCMS-T方式
使用周波数	2.4GHz 帯(2.402GHz - 2.480GHz)

 警告

- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 自動制御機器に電磁妨害をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。



- 著作権保護（SCMS-T）に対応しているBluetooth機器を接続してください。
- 機器の規格や種類によっては接続できないことがあります。
- 通信可能距離内で接続しているときでも、電波状況によっては接続が切れることがあります。
- Bluetoothの通信方式は無線LAN（IEEE802.11b/g）や電子レンジと同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、同時に使用すると電波干渉が発生し、映像や音声途切れたり接続ができないことがあります。同時に使用したいときは、Bluetooth機器をこれらの機器の近くで使用しないでください。
- 複数のBluetooth機器を同時に接続することはできません。

リモコンを準備しよう

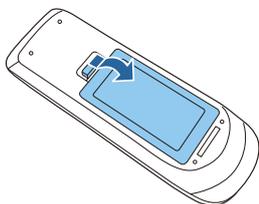
リモコンに電池をセットする

注意

- 電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (-) を正しく入れてください。
- 単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

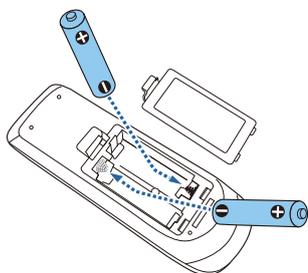
1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



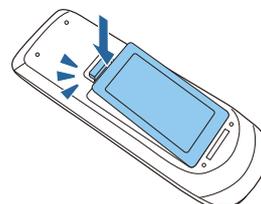
2 新しい電池と交換します。

(+) (-) の向きを確認して入れてください。



3 電池カバーを取り付けます。

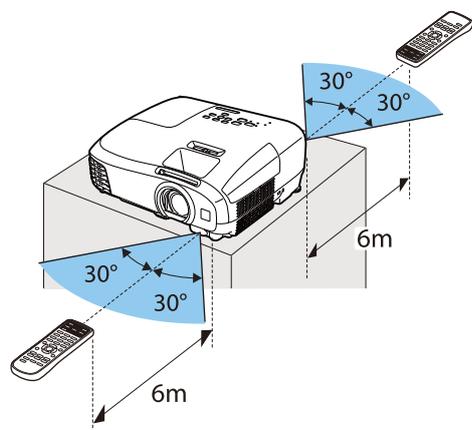
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



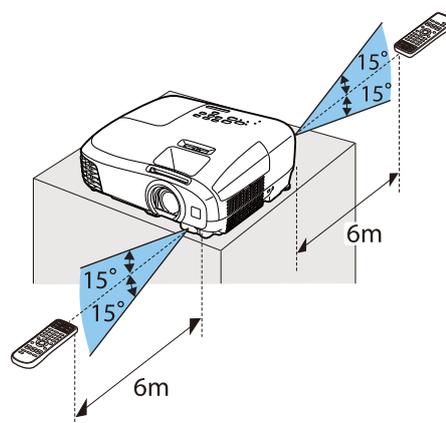
リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。

リモコンの操作範囲

■ 操作可能範囲（左右）



■ 操作可能範囲（上下）



映像を投写しよう

電源を入れる

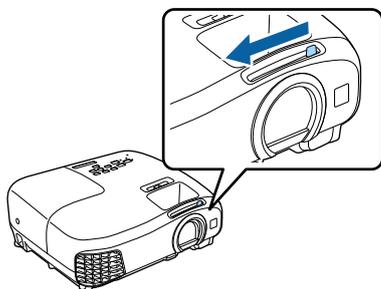
1 本機と接続機器を接続します。

2 同梱の電源コードを接続します。

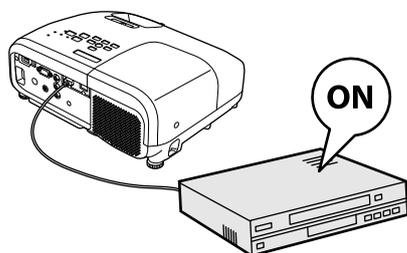
 必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケータが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

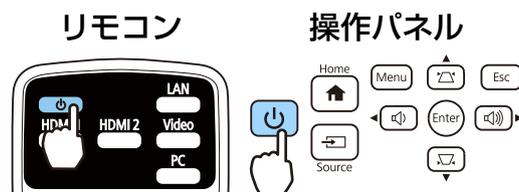
3 レンズカバーを開けます。



4 接続機器の電源を入れます。



5 リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押します。



オペレーションインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、オペレーションインジケータが青色に点灯します。

 [ダイレクトパワーオン] を [オン] にすると、ボタン操作をしなくても、本機に電源コードを接続するだけで投写を開始します。
 [拡張設定] - [動作設定] - [ダイレクトパワーオン] [p.74](#)

警告

- 投写中はレンズをのぞかないでください。強い光により視力障害などの原因となります。
- 投写中はレンズの前に立たないでください。衣服が高温になり損傷する原因となります。

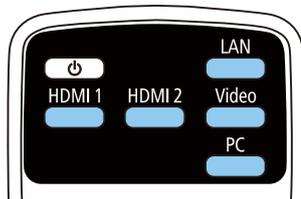
-  本機には、お子様が誤って電源を入れるのを防ぐチャイルドロック機能や、誤操作などを防ぐ操作ボタンロック機能があります。 [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] / [操作ボタンロック] [p.72](#)
- 本機には、接続しているコンピューター映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能があります。 [映像] - [自動調整] [p.70](#)
- 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず [高地モード] を [オン] にしてください。 [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] [p.74](#)

■ 目的の映像が映らない場合

映像が映らないときは、次の方法で入力ソースを切り替えます。

リモコン

目的の入力端子のボタンを押します。



操作パネル

ボタンを押して目的の入力端子を選択します。

ボタンを押すと決定します。



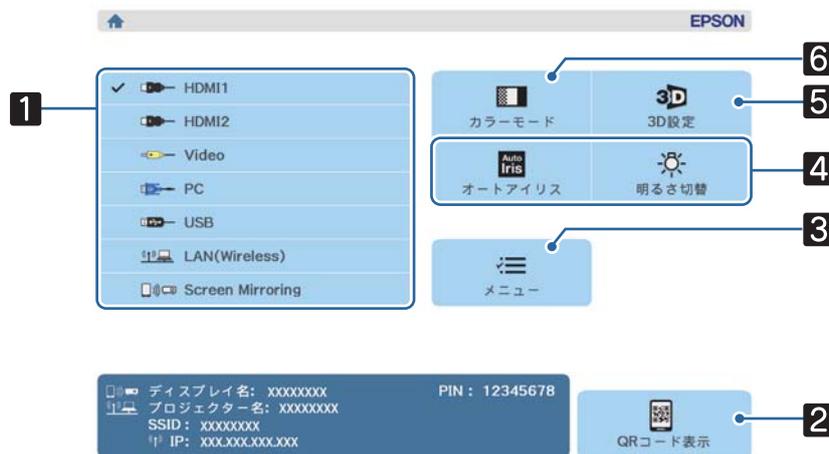
ホーム画面の使い方

ホーム画面を使うと、入力ソースの切り替えや、便利な機能の実行が簡単にできます。

ホーム画面を表示するには、リモコンまたは操作パネルの ボタンを押します。

以下の条件を満たしているときは、本機の電源を入れるとホーム画面が自動で表示されます。

- [ホーム画面自動表示] が [オン] に設定されている [拡張設定] - [ホーム画面設定] - [ホーム画面自動表示] [p.74](#)
- すべての入力ソースが無信号状態



1	入力ソースを切り替えます。
2	QRコードを表示して、スマートフォンやタブレット端末をワイヤレスで接続します。 p.59
3	環境設定メニューを表示します。 p.68
4	[ホーム画面設定] で [カスタム機能1]、[カスタム機能2] に割り当てた機能を実行します。 [拡張設定] - [ホーム画面設定] p.74
5	3Dの設定をします。 p.70

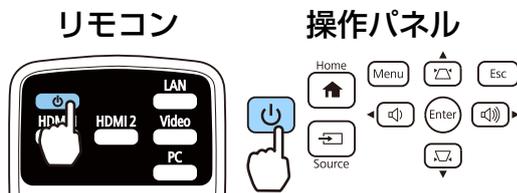
6 [カラーモード] を切り替えます。👉 p.35

📖 10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

電源を切る

1 接続している機器の電源を切ります。

2 リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押します。



確認メッセージが表示されます。

3 もう一度  ボタンを押します。

電源を切りますか？

はい :  を押す

いいえ : 他のボタンを押す

オペレーションインジケータが点滅し、クールダウンを開始します。

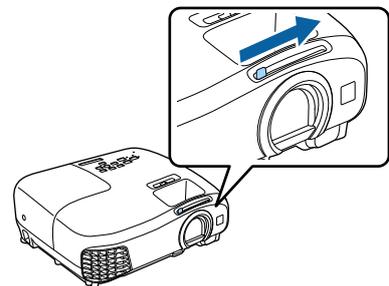
4 クールダウンが終了するのを待ちます。

クールダウンが終了すると、オペレーションインジケータの点滅が止まります。

5 電源コードを抜きます。

📖 電源コードを接続している状態では、動作していなくても電力を消費しています。

6 レンズカバーを閉めます。

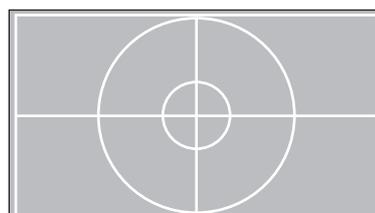
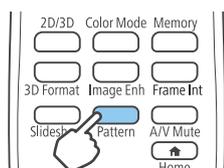


投写映像を調整しよう

テストパターンを表示する

テストパターンを表示して、映像機器を接続せずに、ピントや投写サイズ、投写位置の調整ができます。

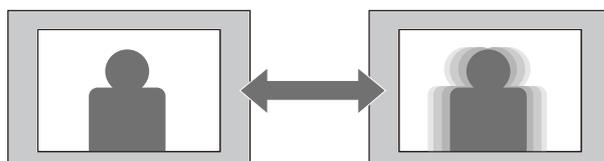
リモコンの  ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。



テストパターン表示を終了するには、もう一度  ボタンを押します。

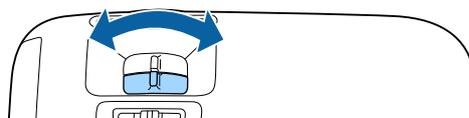
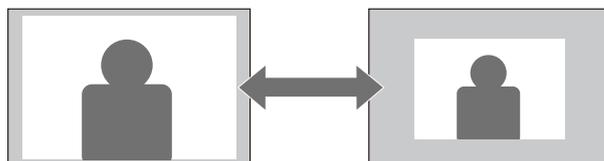
ピントを調整する（フォーカス調整）

フォーカスリングを回してピントを調整します。



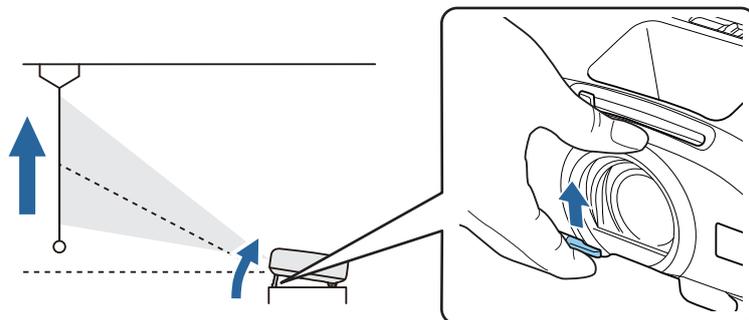
映像のサイズを調整する（ズーム調整）

ズームリングを回して、投写映像の大きさを調整します。



映像の高さを調整する

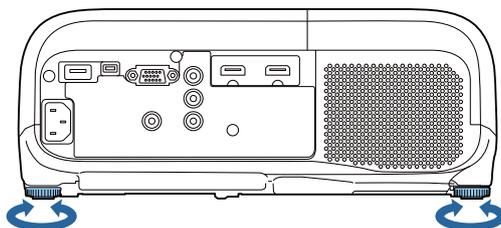
フットレバーを押してフロントフットを伸ばします。最大12°まで傾けて、映像の高さを調整できます。



 傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

本機の傾きを調整する

机上設置時に投写映像が水平方向に傾いている（左右で高さが違う）ときは、リアフットで本機が水平になるように調整します。



ゆがみを補正する

台形にゆがんだ投写映像を補正するには、次の方法があります。

自動で補正する	自動タテ補正	タテ方向の台形のゆがみを自動的に補正します。
手動で補正する	スライド式ヨコ補正	ヨコ方向の台形のゆがみをヨコ補正スライダで補正します。
	タテヨコ補正	タテ方向とヨコ方向のゆがみを個別に補正します。



- ゆがみを補正すると投写映像が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせる場合は、投写距離を長くしてください。
- 映像品質を落とさないためには、スクリーンと本機が平行になるように設置してください。スクリーンと本機を平行に設置できないときは、タテヨコ補正を使用して映像の形状を補正してください。

■ 自動で補正する（自動タテ補正）

本機を設置したときなどプロジェクターが動きを感知すると、投写映像のタテ方向のゆがみを自動的に補正します。プロジェクターが動きを感知してから約2秒間静止すると、調整用の画面が表示され、投写映像が補正されます。

自動タテ補正で投写映像を正しく補正できる条件は以下のとおりです。

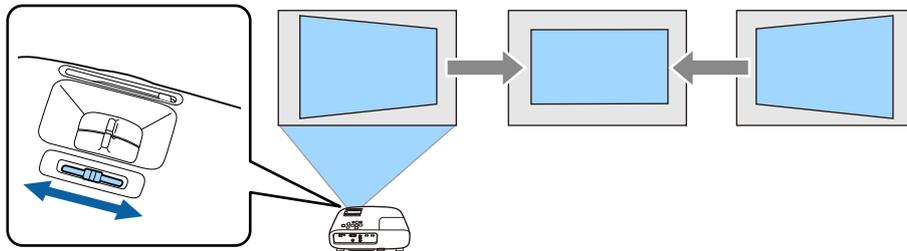
- 投写角度が上下約30°以下である。
- [設定モード] が [フロント] に設定されている。☛ [拡張設定] - [設定モード] p.74



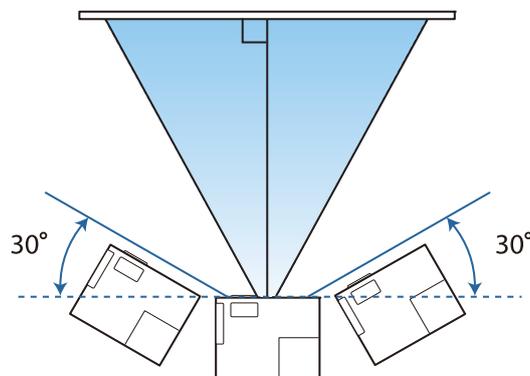
自動タテ補正を機能させたくないときは、[自動タテ補正] を [オフ] に設定してください。
☛ [設定] - [台形補正] - [自動タテ補正] p.72

■ 手で補正する（スライド式ヨコ補正）

ヨコ補正スライダを左右に移動させ、ヨコ方向のゆがみを補正します。



正しく補正できる範囲は、補正角度で左右約30°以下です。



■ 手で補正する（タテヨコ補正）

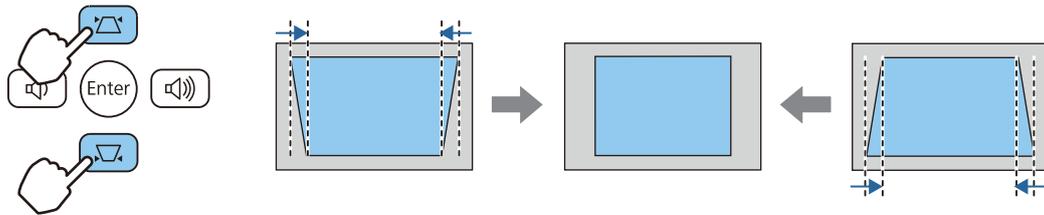
操作パネルの     ボタンでタテヨコ方向のゆがみを補正します。

  ボタンを押すと、タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されます。

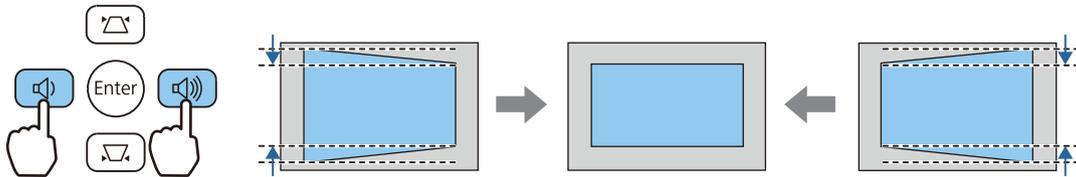
ゲージが表示された状態で、  ボタンを押すと縦方向に、  ボタンを押すと横方向に補正します。

正しく補正できる範囲は、補正角度で上下左右約30°以下です。

上下のどちらかが広いとき



左右のどちらかが広いとき

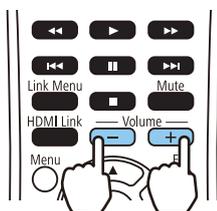


- タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されていない状態で ボタンを押すと、音量調整の機能として動作します。 p.33
- タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。 [設定] - [台形補正] - [タテ補正] / [ヨコ補正] p.72

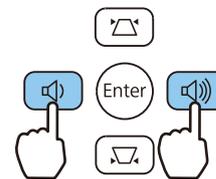
音量を調節する

リモコンの ボタンまたは操作パネルの ボタンで音量を調整できます。

リモコン



操作パネル



- 音量の調節は、環境設定メニューからも設定できます。 [設定] - [音量] p.72
- AVアンプの音量を調整するときは、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク] を [オン]、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定します。 [設定] - [HDMIリンク] p.72
- Bluetoothオーディオ機器から音声を出力しているときは、本機の音量を変更しても、Bluetoothオーディオ機器の音量は変更されません。

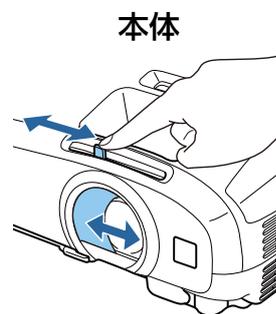
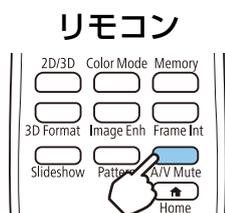


注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）

リモコンの  ボタンを押す、またはレンズカバーを閉/開するたびに、映像と音声が遮断/解除されます。



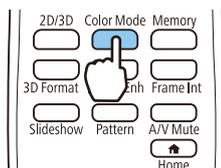
- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいます。遮断した場面から投写を再開することはできません。
-  ボタンでも音声の遮断/解除を切り替えられます。

画質の調整をしよう

映り具合を選ぶ (カラーモード)

投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

1  ボタンを押します。



- 環境設定メニューからも設定できます。  [画質] - [カラーモード] p.69
-  ボタンを押してホーム画面からも設定できます。  p.28

2 [カラーモード] を選択します。

  ボタンを押してモードを選択し、  ボタンを押して決定します。



2D映像投写時の選択肢

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に適しています。
ブライトシネマ	明るい部屋での使用に適しています。鮮やかでメリハリのあるクリアな映像です。
ナチュラル	暗い部屋での使用に適しています。映像の色調整を行うときは、本モードを選択することをお勧めします。  p.39
シネマ	暗い部屋で映画やコンサート映像を楽しむのに適しています。

3D映像投写時の選択肢

モード名	使い方
3Dダイナミック	3Dシネマに比べてメリハリのある明るい映像になります。
3Dシネマ	3Dダイナミックに比べてきれいな色を再現できます。

画面をフルやズームに切り替える（アスペクト）

入力信号の種類、縦横比、解像度にあわせて投写映像の「アスペクト」を切り替えます。
投写している映像の種類により選択できる設定が異なります。

Menu ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。

「映像」 - 「アスペクト」

▲ ▼ ボタンで項目を選択し、Enter ボタンを押して決定します。



信号によっては「アスペクト」の切り替えができない場合があります。

通常は「オート」に設定しておくことで入力信号に最適なアスペクトで表示されます。異なる比率で表示したいときに切り替えてください。

下記の表は16:9のスクリーンに投写した場合のイメージです。

入力映像	設定名		
	ノーマル	フル	ズーム
4:3の映像			
16:9の映像		16:9の映像を投写する場合、フル、ズームは選択できません。	
スクイーズ記録された映像			
レターボックスの映像 ※			
補足	投写パネルの縦サイズに合わせて表示します。入力映像により縦横比が異なります。	投写パネル全体を使って表示します。入力解像度により縦横比が異なります。	入力信号の縦横比を維持して、投写パネルの横サイズに合わせて表示します。上下が切れる場合があります。

※ 説明に使用しているレターボックスのイメージは、16:9の映像の上下に字幕用に黒い帯が付加されて4:3の映像として表示される映像を例としています。画面イメージの上下の枠は字幕用の帯を示しています。



著作権法上で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

シャープネスの調整

映像の輪郭の見え方を調整します。

^{Menu} ○ ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。
[画質] - [シャープネス]

◀▶ ボタンで調整します。

数値を大きくするとくっきりとした映像になり、数値を小さくするとソフトな映像になります。



映像の解像感を調整する（イメージ強調）

イメージ強調機能を使って映像の解像感を調整します。

Video/HDMI1/HDMI2/PC/Screen Mirroringの信号入力時に有効です。

調整できる内容は次のとおりです。

イメージ強調プリセット	[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[ディテール強調] の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
ノイズリダクション	([映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能) 映像のざらつきを抑えます。
MPEGノイズリダクション	MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
ディテール強調	映像の明暗差を強調し、質感や素材感を際立たせます。 映像によっては色の境目にハイライトが目立つ場合があります。 気になるときは、設定値を小さく設定してください。

1 ^{Menu} ○ ボタンを押して、[画質] - [イメージ強調] の順でメニューを表示します。

2 ▲ ▼ ボタンで調整する項目を選択し、^{Enter} ボタンを押して決定します。



3 ▶◀ ボタンで調整します。

別の項目を調整するときは、^{Esc} ○ ボタンを押します。

調整結果を初期値に戻すときは ^{Default} ○ ボタンを押します。



4 ^{Menu} ○ ボタンを押してメニューを終了します。

オートアイリス（自動絞り）を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある映像が楽しめます。

映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を、[標準]、[高速] から選択します。

Menu ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。

[画質] - [オートアイリス]

▲ ▼ ボタンで項目を選択し、Enter ボタンを押して決定します。



映像によってはオートアイリスの動作音がすることがありますが、故障ではありません。

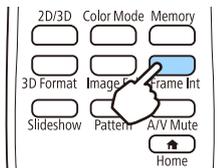
フレーム補間を設定する

前後のフレームから中間のフレームを自動で生成して補間することで、動きの早い動画をなめらかに再生できます。

フレーム補間は以下の条件のときに有効です。

- [映像処理] が [きれい] に設定されている。☞ [映像] - [アドバンスト] - [映像処理] p.70
- 入力ソースがVideo/HDMI1/HDMI2になっている。
- 2D信号または3D信号（1080p 24Hz）が入力されている。☞ p.103

1 Frame Int ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。☞ [画質] - [フレーム補間] p.69

2 ▲ ▼ ボタンで項目を選択し、Enter ボタンを押して決定します。



色を調整をしよう

色温度を調整する

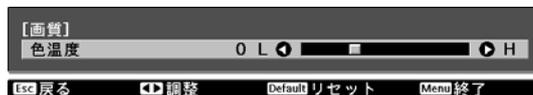
映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。

Menu ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。

[画質] - [色温度] - [色温度]

◀▶ ボタンで調整します。

数値を大きくすると青みが強くなり、数値を小さくすると赤みが強くなります。



調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

RGBを調整する (オフセット・ゲイン)

R (赤) G (緑) B (青) の各色について、暗い部分 (オフセット) と明るい部分 (ゲイン) の明度を調整します。

Menu ボタンを押して、次の順でメニューを表示します。

[画質] - [色温度] - [カスタム]

▲ ▼ ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで調整します。+側 (右側) にすると明るく、-側 (左側) にすると暗くなります。



オフセット	明るくすると暗い部分の濃淡が表現されます。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、暗い部分の濃淡がわからなくなります。
ゲイン	明るくすると明るい部分が白っぽくなり濃淡がわからなくなります。暗くすると明るい部分の濃淡が表現されます。



調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。

色相・彩度・明度の調整

R (赤) G (緑) B (青) C (シアン) M (マゼンタ) Y (イエロー) の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

色相	映像全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。

1 ^{Menu} ○ ボタンを押して、[画質] - [アドバンスト] - [RGBCMY] の順でメニューを表示します。

2   ボタンで調整する色を選択し、 ボタンを押して決定します。



3   ボタンで [色相] [彩度] [明度] のいずれかを選択します。

4   ボタンで調整します。



別の色を調整するときは、^{Esc} ○ ボタンを押します。

調整結果を初期値に戻すときは ^{Default} ○ ボタンを押します。

5 ^{Menu} ○ ボタンを押してメニューを終了します。

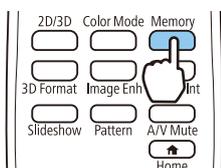
登録した画質で映像を見る（メモリー機能）

メモリーを登録する

環境設定メニューの「画質」の調整値を登録します。

1  ボタンを押して、登録したい「画質」の設定にします。

2  ボタンを押します。



3  ボタンで「メモリー登録」を選択し、 ボタンを押して決定します。



4  ボタンで登録するメモリー名を選択し、 ボタンを押して決定します。



設定した状態がメモリーに登録されます。

メモリー名の左のマークが水色のときは登録済みです。登録済みのメモリー名を選択したときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。[はい] を選択すると、以前の内容を消去し、現在の状態を登録します。

メモリーを呼び出す

登録した調整値をリモコンから呼び出して、画質を切り替えます。

1  ボタンを押し、「メモリー呼出」を選択します。

「メモリー呼出」の画面が表示されます。

2 目的のメモリー名を選択します。



- メモリーを登録した時のカラーモードが右側に表示されます。
- 入力信号によっては、呼び出したメモリー項目の一部が投写映像に反映されない場合があります。
- 2D映像時に登録したメモリーは2D映像時のみ呼び出せます。3D映像時に登録したメモリーは3D映像時のみ呼び出せます。

メモリーを削除する

1  ボタンを押し、[メモリー削除] を選択します。

[メモリー削除] の画面が表示されます。

2 目的のメモリー名を選択します。

確認メッセージが表示されます。[はい] を選択すると、登録内容が削除されます。



登録したメモリーをすべて消去する場合は、[メモリー初期化] を実行してください。
☛ [初期化] - [メモリー初期化] [p.78](#)

メモリー名称変更

メモリー名は自由に変更できます（最大12文字）。わかりやすい名前にしておくと呼び出すときに便利です。

1  ボタンを押し、[メモリー名称変更] を選択します。

[メモリー名称変更] の画面が表示されます。

2 変更するメモリー名を選択します。

メモリー名称選択画面が表示されます。

3 あらかじめ用意されたメモリー名または [カスタム] を選択します。

任意の名前に変更するときは [カスタム] を選択し、手順4に進んでください。[カスタム] を選択するとキーボードが表示されます。

あらかじめ用意されたメモリー名を選択したときは、メモリー名が変更されていることを確認してください。



4

任意の名前を入力します。

    ボタンで文字を選び、 ボタンを押して決定します。12文字まで入力できます。

入力を終了するときは [Finish] を選択します。

メモリー名が変更されます。



3D映像を楽しもう

3D映像を視聴するための準備

3D映像を視聴する前に、以下を確認してください。

- 入力ソースがHDMI1/HDMI2になっている
- [3D表示] が [オート] または [3D] になっている
[2D] になっているときは、リモコンの  ボタンを押して [オート] または [3D] に切り替えてください。 ➡ [映像] - [3D設定] - [3D表示] p.70
- 3Dメガネがペアリングされている ➡ p.46

本機は次の3Dフォーマットに対応しています。

- フレームパッキング
- サイドバイサイド
- トップアンドボトム

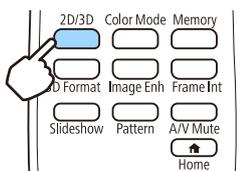
3D映像が見えないときは

3Dフォーマットが判別できる映像信号を受信すると、自動的に3D映像を投写します。

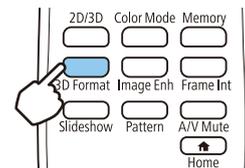
3Dテレビ放送によっては、3Dフォーマットを判別する信号が含まれていないことがあります。その場合は、次の手順で3Dフォーマットを設定してください。

1  ボタンを押して、[3D表示] を [3D] にします。

 ボタンを押すたびに、[3D表示] が [オート]、[3D]、[2D] に切り替わります。

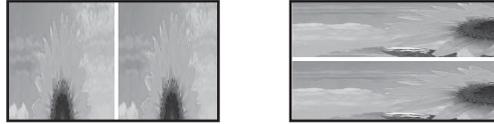


2  ボタンを押して、AV機器側の3Dフォーマットを選択します。





- 3D非対応の機器やケーブルを使用すると、3D投写ができないことがあります。
- AV機器側の3Dフォーマットの設定については、AV機器の取扱説明書を参照してください。
- 3Dフォーマットが正しく設定されていないときは、以下のように映像が正しく表示されません。



- 3Dフォーマットを設定しても3D映像が正しく表示されないときは、3Dメガネの同期タイミングが逆になっていることがあります。[3Dメガネ左右反転]で同期タイミングを反転してください。☛ [映像] - [3D設定] - [3Dメガネ左右反転] p.70
- 3D効果の見え方には個人差があります。
- 3D映像の投写を開始したときに、視聴に関する注意が表示されます。注意を表示させたくないときは[3D視聴上の注意]を[オフ]にします。☛ [映像] - [3D設定] - [3D視聴上の注意] p.70
- 3D投写中は環境設定メニューの次の機能は変更できません。
アスペクト (ノーマル固定)、オーバースキャン (オフ固定)
- 3D投写中は2画面機能が利用できません。
- 環境温度やランプ使用時間によっては3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。

3Dメガネを使用する

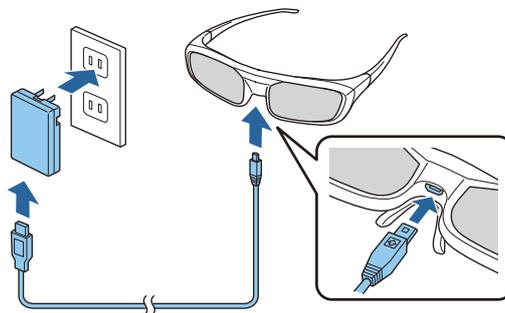
3D映像は、オプションの3Dメガネ (ELPGS03) をかけて視聴します。☛ p.102



開封直後の3Dメガネには、保護シールなどが貼ってあります。保護シールをはがしてください。

3Dメガネを充電する

3DメガネとUSB充電AC電源アダプター (ELPAC01) をUSB充電ケーブルで接続し、USB充電AC電源アダプターをコンセントに差し込みます。



- ELPGS03以外の3Dメガネは充電できません。
- 3分の充電で約3時間の視聴が可能です。50分の充電で完全に充電され、約40時間の視聴が可能です。
- 3Dメガネをプロジェクターに接続して充電することもできます。本機で3Dメガネを充電するときは、USB充電ケーブルを本機のUSB端子 (TypeA) に接続してください (プロジェクターの電源がオンのときのみ充電可能)。

注意

- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- USB充電ケーブルの取り扱いには以下の点に注意してください。
 - ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
 - ケーブルを加工しないでください。
 - 電熱器の近くに配線しないでください。
 - 破損したケーブルは使用しないでください。

3Dメガネをペアリングする

3D映像を視聴するために、はじめに3Dメガネと本機をペアリングする必要があります。

ペアリングは、3Dメガネの【Pairing】ボタン長押しで開始します。詳しい操作については、3Dメガネの取扱説明書を参照してください。



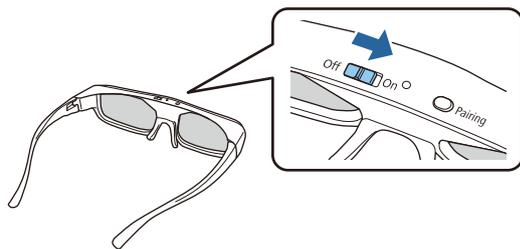
- 3Dメガネをはじめて使うときは、3Dメガネの電源投入時にペアリングされます。正しく3Dが視聴できるときは、ペアリングは必要ありません。
- 一度ペアリングを実施すれば、次回以降は電源を入れるだけで視聴できます。
- ペアリング可能範囲は、本機から3mです。ペアリング中は、本機から3m以上離れないでください。ペアリングに失敗します。
- 30秒以上同期できない場合は、自動的にペアリングを終了します。このとき、ペアリングは失敗となるため、3D映像は視聴できません。

3Dメガネを装着する

1

【電源】スイッチをOn側にスライドさせ、3Dメガネの電源を入れます。

インジケーターが数秒点灯し、消えます。



2

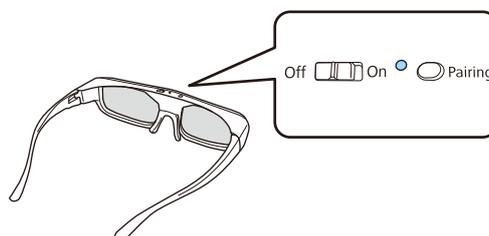
3Dメガネを装着し、視聴します。



- 使い終わった後は【電源】スイッチをOff側にスライドさせ、電源を切ります。
- 3Dメガネは、30秒以上使用しないまま放置すると、自動的に電源が切れます。電源を再投入するときは、一度、【電源】スイッチをOff側にスライドさせた後、On側にスライドさせます。

3Dメガネのインジケーターの見方

3Dメガネの状態は、インジケーターの点灯や点滅で確認できます。



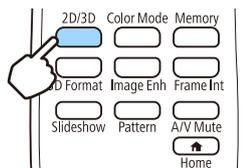
インジケーター	状態
赤色の2回点滅×5	電池消耗状態
赤色に点灯	充電中
緑色に点灯	充電完了
緑色と赤色に交互に点滅	ペアリング中
緑色に10秒間点灯して消える	電源Onまたはペアリング成功

2D映像を3Dに変換して見る

HDMI1/HDMI2からの2D映像を3Dに変換します。

1  ボタンを押して、[3D表示] を [オート] にします。

 ボタンを押すたびに、[3D表示] が [オート]、[3D]、[2D] に切り替わります。



2  ボタンを押して、[映像] - [3D設定] - [2D-3D変換] の順でメニューを表示します。

3  ボタンで3D効果の強度を選択し、 ボタンを押して決定します。



3D映像視聴に関する注意

3D映像を視聴するときは、次のことに注意してください。

警告

分解改造について

- 3Dメガネを分解したり改造しないでください。
火災や視聴時の異常による体調不良の原因になります。

保管場所について

- 3Dメガネや同梱部品は、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

加熱について

- 3Dメガネを火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしないでください。本製品にはリチウム充電電池を内蔵しているため、発火・破裂によるやけどや火災の原因になります。

充電について

- 充電時は、当社で指定のUSB端子に付属の充電ケーブルを接続してご使用ください。他の機器による充電は、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になることがあります。
- 付属の充電ケーブルは3Dメガネの充電用途以外に使用しないでください。発熱・発火・故障の原因になることがあります。

注意

3Dメガネについて

- 3Dメガネを落としたり、力を加えたりしないでください。
ガラス部分などが破損してけがの原因になることがあります。保管時はソフトケースに収納してください。
- 3Dメガネを装着する際は、フレームの先端にご注意ください。
目などをついてけがの原因になることがあります。
- 3Dメガネの可動部（ヒンジ部など）に指を挟まないようにしてください。
けがの原因になることがあります。

 **注意**

3Dメガネの使用について

- 3Dメガネは正しく装着してください。
3Dメガネを上下逆に装着しないでください。
右目と左目に映像が正しく表示されずに不快に感じたりすることがあります。
- 3D映像をご覧になる以外には使用しないでください。
- 3D映像の見え方には個人差があります。違和感を感じたり、立体に見えない場合は、3D機能のご使用をお控えください。
そのまま使用すると体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネに異常・故障が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
そのまま使用するとけがや体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネを装着し耳、鼻やこめかみが赤くなったり、痛みやかゆみを感じたら使用を中止してください。
そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネの装着により、肌に異常を感じたら使用を中止してください。
ごく稀に塗料や材質によりアレルギーの原因になることがあります。

 **注意**

視聴時間について

- 3D映像を視聴する場合は、定期的に適度な休憩をとってください。
長時間の視聴による目の疲れなどの原因となることがあります。
休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。休憩をとっても、疲労感、不快感がとれない場合は、使用を中止してください。

 **注意**

視聴方法について

- 3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。
そのまま使用しますと体調不良の原因となることがあります。
- 3D映像の視聴中は必ず3Dメガネを装着し、裸眼で3D映像を視聴しないでください。
体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。
実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因となることがあります。
- 3Dメガネは3D映像視聴中のみ装着し、3Dメガネを装着したまま移動しないようにしてください。
周りが暗くなり、転倒などによるけがの恐れがあります。
- スクリーンと（おおむね）水平な状態で視聴してください。
傾いた状態で視聴を続けると、3D効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることにより、体調不良の原因となることがあります。
- 蛍光灯やLED照明などをお使いの部屋で視聴すると、部屋全体がちらついてみえることがあります。
その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くしたり、照明を消して視聴してください。このちらつきによって、ごくまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視聴中に体調の変化を感じた場合は視聴を中止してください。
- 画面の高さの3倍以上の視距離で視聴してください。
推奨距離は、画面80インチの場合3.0m以上、画面100インチの場合3.6m以上です。
推奨距離より近距離での使用は目の疲れの原因となることがあります。

 注意

視聴者について

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しないでください。症状悪化の原因になることがあります。

 注意

視聴年齢について（お子様への注意）

- 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
- 6歳未満のお子様の3D視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合がありますので、保護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。

HDMIリンクで操作しよう

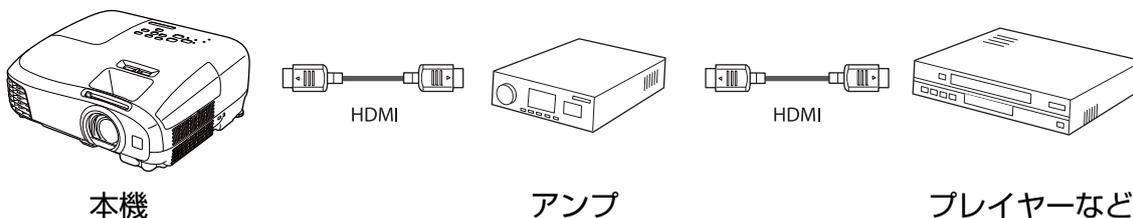
HDMIリンク機能

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、電源オン連動やAVアンプの音量調整など連携動作がひとつのリモコンで操作できます。



- AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
- HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

接続例



HDMIリンク設定

[HDMIリンク] を [オン] にすると次の操作ができます。
 [設定] - [HDMIリンク] - [HDMIリンク] p.72

- 入力切替連動
 接続機器のコンテンツ再生に連動して、本機の入力ソースがHDMIに切り替わります。
- 接続機器操作
 本機のリモコンで、接続機器の再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止/音量調整/音声ミュートなどの操作ができます。



また、[HDMIリンク] 画面で次の機能を選択できます。

機能	説明
音声出力機器	AVアンプを接続しているときに、音声の出力先を本機のスピーカーまたはAVアンプのどちらかに設定できます。
電源オン連動	[電源オン連動] を [オン] にすると、次のように操作が連動します。 <ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源を入れると、接続機器の電源が入ります。 • 接続機器で電源を入れたりコンテンツを再生したりすると、本機の電源が入ります。
電源オフ連動	[電源オフ連動] を [オン] にすると、本機の電源オフに連動して、接続機器の電源が切れます。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効です。 • 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。

写真データを再生しよう（スライドショー）

再生できるデータ

本機のUSB端子に接続したUSBメモリーやデジタルカメラなどのUSBストレージデバイスに保存されている次のファイルを再生できます。

スライドショーで再生できるファイルの仕様

ファイルタイプ（拡張子）	備考
.jpg	<ul style="list-style-type: none">• CMYKカラーモード形式のものは投写できません。• プロGRESSIVE形式のものは投写できません。• 解像度が8192 x 8192を超えるものは投写できません。• JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。

スライドショーの実行

1 USBストレージデバイスを接続します。

ファイルのサムネイルが表示されます。



フォルダーを開くときは、フォルダーを選択して **Enter** ボタンを押します。



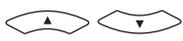
ファイルのサムネイルが表示されないときは、リモコンの **slideshow** ボタンを押して入力ソースを切り替えます。

2 [スライドショー] を選択します。

 ボタンで右下の [スライドショー] を選択して **Enter** ボタンを押します。

スライドショーが始まります。



- スライドショーを終了するときは、USBストレージデバイスを取り外します。
- サムネイル表示のときに写真を1枚選択して **Enter** ボタンを押すと、選択した1枚を拡大して表示します。
1枚を拡大して表示している画面でリモコンの  ボタンを押すと、画像を切り替えます。また、 ボタンで画像を回転できます。

スライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

- 1  ボタンを押して、設定を変更するフォルダーにカーソルを合わせ  ボタンを押します。
サブメニューが表示されます。

- 2 [オプション] を選択して  ボタンを押します。
オプション画面が表示されます。

- 3 変更したい項目にカーソルを合わせて  ボタンを押し、各項目を設定します。
各項目の詳細は次の表のとおりです。

表示順序設定	表示するファイルの順序を、[ファイル名順]、[更新日付順] から選択します。
ソート方向	ファイルの並び替え方向を、[昇順]、[降順] から選択します。
繰り返し再生	繰り返し再生を実行するかを設定します。
表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。 [なし] (0) ~60秒までの設定ができます。[なし] に設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

- 4  ボタンを押して [OK] にカーソルを合わせて、  ボタンを押します。
設定が適用されます。
設定を適用したくない場合は、[キャンセル] にカーソルを合わせて、  ボタンを押します。

2種類の映像を同時に投写しよう (2画面)

2画面で投写する

HDMI1/HDMI2入力端子の映像とScreen Mirroring経由の映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写できます。

2画面で投写をはじめる前に、次のことを確認してください。

- プロジェクターと接続機器をScreen Mirroringで接続している。☛ p.63
- 入力ソースがHDMI1またはHDMI2である。

1

 ボタンを押して [設定] メニューを表示します。

2

[2画面] を選択して  ボタンを押します。

左画面にHDMI1/HDMI2入力端子の映像、右画面にScreen Mirroring経由の映像が投写されます。



3D映像を投写しているときは、2画面で投写できません。

2画面の設定を変更する

2画面投写中に  ボタンを押すと、2画面の設定が変更できます。



各項目の詳細は次の表のとおりです。

右画面表示形式	Screen Mirroring経由の映像の向きや大きさを選択します。
音声切替	音声を出力するソースを選択します。[左画面] を選択するとHDMI1/HDMI2入力端子の音声、[右画面] を選択するとScreen Mirroring経由の音声を出力します。
2画面終了	2画面表示を終了します。

2画面を終了する

2画面を終了するときは  ボタンを押します。

無線LAN経由で投写しよう

スマートフォンやタブレット端末、コンピューターの映像を無線LAN経由でプロジェクターから投写できます。

無線LAN経由で投写するには、事前にプロジェクターおよび接続機器の無線ネットワーク設定をします。

無線LAN経由で投写するには、以下の方法があります。

- EasyMP Network Projectionでコンピューターの映像を投写します。
EasyMP Network Projectionは以下のWebサイトからダウンロードしてください。
<http://www.epson.jp/download/>
- Epson iProjectionでスマートフォンやタブレット端末の映像を投写します。  p.59

プロジェクターのネットワーク設定をする

無線LANネットワーク経由でプロジェクターに映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

1  ボタンを押して、[ネットワーク] - [無線LAN電源] の順でメニューを表示します。

2   ボタンで [オン] を選択し、 ボタンを押します。



3 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、 ボタンを押します。



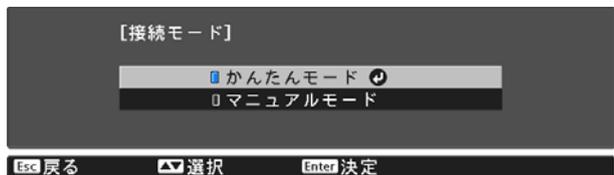
4 [基本設定] を選択し、必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。16文字以内の半角英数字を入力します。
- [Remoteパスワード]：スマートフォンやタブレット端末から本機を操作するときに必要な、認証用パスワードを設定します。8文字以内の半角英数字を入力します。
- [LAN情報表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。

 名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたスクリーンキーボードを使用します。リモコンの   ボタンを押して文字を選択し、 ボタンを押して入力します。

5 [無線LAN] を選択し、 ボタンを押します。

6 [接続モード] を選択します。



- [かんたんモード]：1台のスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと無線で直接接続できます。[かんたんモード] を選択したときは、手順10へ進みます。
- [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。[マニュアルモード] を選択したときは、手順7へ進みます。

接続モードを切り替えるときは、画面の指示に従ってネットワーク設定を保存します。保存が完了すると [ネットワーク] メニューが表示されます。

7 [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [アクセスポイント検索] の順に選択して、接続する無線LANアクセスポイントを検索します。



8 SSIDを手動で割り当てるときは、[SSID] を選択してプロジェクターのSSIDを入力します。

- 9 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。
- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
 - DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択して [DHCP] を [オフ] にし、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。



- 10 設定が終わったら [設定完了] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

- 11 リモコンの  ボタンを押します。LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。

無線LAN設定が完了したら、接続機器の無線LAN設定をしてください。アプリケーションを起動して、無線LAN経由で映像を投写します。



- EasyMP Network Projectionを使用するときは、手順6で選択した接続モードと同じ接続モードを選択してください。
- SSIDとIPアドレスがLAN待機画面やホーム画面に表示されないようにするには、[SSID表示] と [IPアドレス表示] を [オフ] に設定してください。☛ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN]

コンピューターの無線LAN設定をする

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

■ Windowsで無線LANを設定する

- 1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをダブルクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2 マニュアルモードで接続するときには、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名 (SSID) を選択します。
- 3 [接続] をクリックします

■ OS Xで無線LANを設定する

- 1 画面上部にあるメニューバーのAirMacアイコンをクリックします。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、AirMacがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名 (SSID) を選択します。

無線LANのセキュリティを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティーを設定できます。無線LANの [接続モード] に応じて、次のいずれかのセキュリティーを設定します。

- WPA2セキュリティー
- WPA/WPA2セキュリティー

- 1 ^{Menu} ボタンを押して、[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [セキュリティー] の順でメニューを表示します。
- 2 セキュリティー設定をします。



- 3 設定が終わったら [設定完了] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

Epson iProjectionで投写する

投写画面に表示したQRコードをEpson iProjection (V1.3.0以降) で読み取ると、スマートフォンやタブレット端末内のデータを簡単に投写することができます。



- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle playから無料でダウンロードできます。App Store、Google playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- [かんたんモード] でEpson iProjectionを使うときは、セキュリティーの設定をすることをお勧めします。👉 [p.59](#)

- 1 ^{Menu} ボタンを押して、[ネットワーク] - [無線LAN電源] の順でメニューを表示します。

2   ボタンで [オン] を選択し、 ボタンを押します。



3 [ネットワーク設定画面へ] - [基本設定] - [LAN情報表示] の順でメニューを表示します。

4   ボタンで [テキストとQRコード] を選択し、 ボタンを押します。



5  ボタンの押下、または [ネットワーク] メニューの [QRコード表示] を選択して、QRコードを表示します。



-  ボタンを押してホーム画面からもQRコードを表示できます。  [p.28](#)
- 本機がすでにネットワーク経由の映像信号を受信しているときは、 ボタンを押してもQRコードが表示されません。[ネットワーク] メニューの [QRコード表示] を選択して、QRコードを表示してください。
- QRコードを非表示にしたいときは、 ボタンを押してください。

6 スマートフォンまたはタブレット端末でEpson iProjectionを起動します。

7 アプリ画面の  をタップします。

ドロワーメニューが表示されます。

8 ドロワーメニューの [接続] をタップします。

プロジェクター検索画面が表示されます。

9 アプリ画面の [QRコード読み取り] をタップします。

カメラが起動し、プレビュー画面が表示されます。



プロジェクター検索画面に、接続したいプロジェクターがリスト表示されているときは、プロジェクターを選択して [接続] をタップすると接続が完了します。

10 投写されているQRコードをスマートフォンまたはタブレット端末で読み取ります。QRコードがガイドに収まるようにスクリーンの正面から読み取ってください。スクリーンから離れすぎると読み取れないことがあります。

接続が完了すると、接続機器の映像が投写されます。ドロワーメニューで [写真]、[ドキュメント]、[Web] のいずれかをタップして、投写するファイルを選択してください。

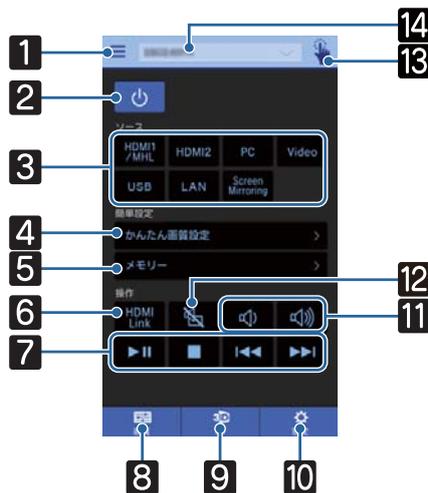
■ スマートフォンを使って操作する（リモコン機能）

Epson iProjection (V1.4.0以降) を使って、スマートフォンやタブレット端末からプロジェクターを操作できます。

Epson iProjectionで  をタップすると、ドロワーメニューが表示されます。

ドロワーメニューで [リモコン] をタップすると、以下の画面が表示されます。

 Remoteパスワードを設定しているときは、パスワードの入力が必要です。一度パスワードが認識されたら、2回目以降はパスワードの入力が不要です。



ボタン		機能
1		ドロワーメニューを表示します。
2		本機の電源をオン/オフします。
3		各入力端子からの映像に切り替えます。  p.28
4		ナビゲーションに沿って画質を設定します。
5		メモリーの登録・呼出・削除・名称変更をします。  p.41
6		HDMIリンクをオン/オフします。  p.51
7		HDMIリンクがオンのときに、映像の再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止を操作します。

	ボタン	機能
8		[カラーモード]、[フレーム補間]、[イメージ強調]、[色温度]、[RGBCMY]、[明るさ切替]、[オートアイリス] を設定します。
9		[3D表示]、[3D方式設定]、[2D-3D変換]、[3D奥行き調整]、[映像サイズ]、[3D明るさ調整] を設定します。
10		[アスペクト]、[映像処理]、[台形補正]、[2画面]、[Screen Mirroring]、[全初期化]、[メモリー初期化]、[テストパターン] を設定します。
11		音量を調整します。
12		映像と音声を一時的に遮断/解除します。  p.34
13		タッチパッド画面が開きます。 タッチパッドをタッチして、プロジェクターのメニュー画面を操作します。
14	<input data-bbox="245 840 608 884" type="text" value="XXXXXXX"/>	複数のプロジェクターを接続しているときに、操作するプロジェクターを選択します。

Screen Mirroringで投写しよう

Intel WiDi (バージョン3.5以降) またはMiracastを搭載したノートPC、スマートフォン、タブレットPCなどのモバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます。

Intel WiDiまたはMiracastに準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でインストールする必要はありません。

Screen Mirroring機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- 3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは、2チャンネルで再生されます。
- 解像度1920 x 1080以上、フレームレート50 fps以上の映像は、解像度とフレームレートを落として投写されます。
- 3D映像は再生できません。
- 著作権保護されたコンテンツは、Miracast接続では再生できないことがあります。
- 電波干渉により、Bluetoothオーディオ機器の音声や接続が途切れることがあります。
- 接続機器によっては、Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写しているときでも、Screen Mirroringからの音声が出力され続けることがあります。



Intel WiDiは、主にUltrabookや第3世代以降のIntel Coreプロセッサを搭載した2-in-1デバイスに搭載されています。Miracastは、主にAndroid端末やWindows 8.1端末に搭載されています。デバイスによって、Intel WiDiまたはMiracastを搭載していないことがあります。お使いのモバイルデバイスの取扱説明書をご確認ください。

Screen Mirroringを設定する

Screen Mirroringで映像を投写するには、プロジェクターの [Screen Mirroring設定] を設定します。

1 ^{Menu} ボタンを押して、[ネットワーク] - [Screen Mirroring] の順でメニューを表示します。

2   ボタンで [オン] を選択し、^{Enter} ボタンを押します。



3 [Screen Mirroring設定] を選択し、^{Enter} ボタンを押します。

4 必要に応じてScreen Mirroringの設定をします。

- [ディスプレイ名]：接続可能なデバイスの一覧から本機を識別するための名前を入力します。32文字以内の半角英数字を入力します。
- [パフォーマンス調整]：Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。品質を上げるには小さい値を選択し、速度を上げるには大きい値を選択します。



5 設定が終わったら [設定] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

Windows 8.1で投写する

Windows 8.1のコンピューターをお使いのときは、チャームからワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

1 必要に応じて本機のScreen Mirroring設定を設定します。

☞ p.63

2  ボタンを押してScreen Mirroringソースに切り替えます。

Screen Mirroring待機画面が表示されます。

3 コンピューターでチャームの [デバイス] を選択し、[表示] を選択します。



4 [ワイヤレスディスプレイの追加] を選択します。



接続可能なデバイス一覧が表示されます。

5 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



6 コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。

 接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

Intel WiDiソフトウェアを使って投写する

Intel WiDiソフトウェアがインストールされたWindows 7、Windows 8のモバイルデバイスをお使いのときは、Intel WiDiソフトウェアを使ってワイヤレスに映像を投写できます。

Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

1 必要に応じて本機のScreen Mirroring設定を設定します。

 p.63

2  ボタンを押してScreen Mirroringソースに切り替えます。
Screen Mirroring待機画面が表示されます。

3 モバイルデバイスでIntel WiDiソフトウェアを起動します。
接続可能なデバイス一覧が表示されます。



4 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。

5 モバイルデバイスにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

モバイルデバイスの映像がプロジェクターから投写されます。

 接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

Miracast機能を使って投写する

Miracastが搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。

Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

1 必要に応じて本機のScreen Mirroring設定を設定します。

 [p.63](#)

2  ボタンを押してScreen Mirroringソースに切り替えます。
Screen Mirroring待機画面が表示されます。

3 モバイルデバイスでMiracast機能を使用してプロジェクターを検索します。
接続可能なデバイス一覧が表示されます。

4 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。

5 モバイルデバイスにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面
または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

モバイルデバイスの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

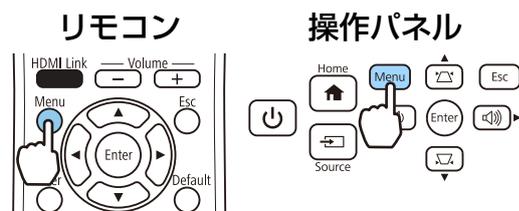
モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指示に従って操作してください。

環境設定メニューの機能

環境設定メニューの操作

環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。

1 ○ ボタンを押します。



環境設定メニューが表示されます。

2 上下ボタンで左側のトップメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します。

左側のトップメニューを選択すると、右側のサブメニューが切り換わります。



下の1行は操作ガイドです。

3 左右ボタンで右側のサブメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します。



選択した機能の調整画面が表示されます。

4 左右ボタンで設定値を調整します。

例) 調整バー



例) 選択肢



⌚ が表示されている項目で Enter ボタンを押すと、その項目の選択画面に移行します。

一階層戻るときは Esc ボタンを押します。

5 Menu ボタンを押してメニューを終了します。



明るさなど調整バーで調整する項目は、調整画面が表示されているときに  ボタンを押すと調整値が初期値に戻ります。

環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの [画質] と [映像] の項目は調整できません。また、[画質]、[映像]、[情報] は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

■ 画質メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
カラーモード	ダイナミック、ブライトシネマ、ナチュラル、シネマ、3Dダイナミック、3Dシネマ		投写する環境や映像に合わせて、色調整を選択します。  p.35
明るさ			映像が暗く感じるときに調整します。
コントラスト			映像の明暗の差を調整します。コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。
色の濃さ			映像の色の濃さを調整します。
色合い			映像の色合いを調整します。
シャープネス			映像のシャープ感を調整します。
色温度	色温度		映像全体の色合いを調整します。高い値にすると青みがかった映像になり、低い値にすると赤みを帯びた映像になります。
	カスタム		R/G/Bごとにオフセットとゲインを調整します。
フレーム補間 ※1	オフ、弱、標準、強		([映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能) 映像の動きの滑らかさを調整します。
イメージ強調 ※2	イメージ強調プリセット	オフ、プリセット1～プリセット5	[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[ディテール強調] の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
	ノイズリダクション		([映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能) 映像のざらつきを調整します。
	MPEGノイズリダクション		MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
	ディテール強調		映像の質感や素材感を際立たせます。

機能	メニュー/設定値			説明
アドバンスト	RGBCMY	R/G/B/C/ M/Y	色相、彩 度、明度	 R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明度を調整します。 ● p.39
	EPSON Super White		オン、オフ	(HDMI1/HDMI2入力端子からの信号入力時のみ設定可能) 白の部分が明るく白とびしているときは、[オン] に設定します。[オン] に設定している場合は、[HDMIビデオレベル] での設定は無効になります。
明るさ切替	高、低			ランプの明るさを2段階で切り替えます。 投写映像が明るすぎるときは[低] に設定します。[低] で使用すると投写中の消費電力、ファン回転音が減少します。
オートアイリス	オフ、標準、高速			映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を設定します。 ● p.38
初期化	はい、いいえ			現在のカラーモードで設定した [画質] の調整値を初期値に戻します。

※1 Video/HDMI1/HDMI2映像信号入力時のみ表示されます。

※2 Video/HDMI1/HDMI2/PC/Screen Mirroring映像信号入力時のみ表示されます。

■ 映像メニュー

USB/LAN映像信号入力時には映像メニューは設定できません。

機能	メニュー/設定値		説明
3D設定※1	3D表示	オート、3D、2D	3D映像を視聴するときは、[オート] または [3D] に設定します。 ● p.44
	3D方式設定	サイドバイサイド、トップアンドボトム	入力信号の3D方式を設定します。
	2D-3D変換	オフ、弱、中、強	2D映像を3D映像に変換して投写します。
	3D奥行き調整	-10~10	3D映像の奥行き感を設定します。
	映像サイズ	60~300	3D映像の投写サイズを設定します。実サイズに合わせることで、適切な3D効果になります。
	3D明るさ調整	低、中、高	3D映像の明るさを設定します。
	3Dメガネ左右反転	はい、いいえ	3Dメガネの左右のシャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。映像で3Dの効果が正しく表示されない場合に設定します。
	3D視聴上の注意	オン、オフ	3D視聴に関する注意を表示するかどうかを切り替えます。
アスペクト ※2 ※4	オート※1、ノーマル、フル、ズーム		アスペクトモードを選択します。 ● p.36

機能	メニュー/設定値		説明
トラッキング ※2 ※3	入力信号によって異なります。		映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期※2 ※3	0~31		映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 <ul style="list-style-type: none"> • ちらつき、ぼやけは、[明るさ] / [コントラスト] / [シャープネス] の調整で発生することもあります。 • [トラッキング] の調整後に [同期] を調整すると、より鮮明に調整できます。
表示位置 ※2 ※4			映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像の投写範囲を調整します。
自動調整※3	オン、オフ		入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整するかどうかを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。
オーバースキャン※2	オート※1、オフ、4%、8%		出画率（投写する映像の範囲）を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [オフ]、[4%]、[8%]：映像の範囲を設定します。[オフ] はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。 • [オート]：入力信号によって自動的に [オフ] または [8%] に設定されます。
アドバンスト	HDMI ビデオレベル※1 ※2	オート、通常、拡張	([EPSON Super White] が [オフ] の場合のみ設定可能) [オート] に設定すると、本機のHDMI1/HDMI2入力端子へのDVD入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。 [オート] に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVDプレイヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。DVDプレイヤー側の設定では、Normal (通常)、Expand (拡張) となっていることがあります。
	映像処理 ※1 ※4 ※5	きれい、速い	ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。
初期化	はい、いいえ		[映像] のうち、[映像サイズ]、[3D視聴上の注意]、[アスペクト] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

- ※1 HDMI1/HDMI2映像信号入力時のみ表示されます。
- ※2 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。
- ※3 PC映像信号入力時のみ表示されます。
- ※4 PC/Video映像信号入力時のみ表示されます。
- ※5 Screen Mirroring映像信号入力時のみ表示されます。

■ 設定メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
台形補正	タテ補正	-60~60	タテ方向のゆがみを補正します。 ☛ p.32
	ヨコ補正	-60~60	ヨコ方向のゆがみを補正します。 ☛ p.32
	自動タテ補正	オン、オフ	[自動タテ補正] の有効/無効を切り替えます。☛ p.32
	スライド式ヨコ補正	オン、オフ	[スライド式ヨコ補正] の有効/無効を切り替えます。☛ p.32
2画面	-		画面を2つに分割し、HDMIソースとScreen Mirroringソースの映像を表示します。
音量	0~20		音量を調整します。
HDMIリンク	接続機器一覧	-	HDMI1/HDMI2入力端子に接続している機器の一覧を表示します。
	HDMIリンク	オン、オフ	HDMIリンク機能の有効/無効を切り替えます。
	音声出力機器	プロジェクター、AVアンプ	AVアンプを接続している場合に、本機のスピーカーから音声を出力するか、AVアンプのスピーカーから音声を出力するかを設定します。
	電源オン連動	オフ、双方向、接続機器→PJ、PJ→接続機器	電源オンの連動機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 接続機器での操作に連動して本機の電源を入れるときは、[双方向] または [接続機器→PJ] を選択します。 本機の電源オンに連動して接続機器の電源を入れるときは、[双方向] または [PJ→接続機器] を選択します。
	電源オフ連動	オン、オフ	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源を切るかどうかを設定します。

機能	メニュー/設定値		説明
Bluetooth	Bluetooth機器検索	-	接続可能なBluetooth機器を検索して一覧を表示します。
	Bluetoothオーディオ	オン、オフ	Bluetoothオーディオ機器からの音声出力の有効/無効を切り替えます。 以下の場合は設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 入力ソースがLANになっているとき • [HDMIリンク] メニューの [音声出力機器] が [AVアンプ] に設定されているとき
ロック設定	チャイルドロック	オン、オフ	お子様が、誤って電源を入れないように、操作パネルの  ボタンでの電源オンをロックします。ロック時は、  ボタンを約3秒間押し続けると電源が入ります。  ボタンでの電源オフやリモコンでの操作は通常どおり行えます。 設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。 [ダイレクトパワーオン] を [オン] に設定しているときは、[チャイルドロック] を [オン] に設定している場合も、本機に電源コードを接続するだけで投写が開始されますので、注意してください。
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ	[全ロック]：操作パネルのすべてのボタン操作が無効になります。 [操作ロック]：操作パネルの  ボタン以外のボタン操作が無効になります。 ロック中にボタン操作を行うと画面上に  が表示されます。解除するには、本体操作パネルの  ボタンを約7秒以上押します。 設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に、設定が有効になります。
ユーザーボタン	きれい/速い、2D-3D変換、明るさ切替、情報、QRコード表示		リモコンの  ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。  ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。

機能	メニュー/設定値		説明
メモリー	メモリー呼出	Memory1～Memory10	メモリー登録した設定値を呼び出して映像を調整します。
	メモリー登録	Memory1～Memory10	[画質] で設定した設定値をメモリーとして登録します。
	メモリー削除	Memory1～Memory10	登録したメモリーを削除します。
	メモリー名称変更	Memory1～Memory10、デフォルト、DVD、VCR、SDTV、HDTV、Cinema、Sports、Music、Anime、Game、カスタム	メモリーの登録名を変更します。
初期化	はい、いいえ		[設定] のうち、[音声出力機器]、[電源オン連動]、[電源オフ連動]、[ユーザーボタン]、[メモリー] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

■ 拡張設定メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
ホーム画面設定	ホーム画面自動表示	オン、オフ	[オン] に設定すると、本機の電源を入れたときにホーム画面を自動で表示します。電源投入時に、映像信号がある入力ソースを選択しているときは、ホーム画面は表示されません。
	カスタム機能1	明るさ切替、オートアイリス、台形補正、情報	ホーム画面に割り当てる機能を選択します。
	カスタム機能2		
表示設定	メッセージ表示	オン、オフ	次のメッセージ表示をする（オン）/しない（オフ）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 映像信号やカラーモード、アスペクトの項目名表示 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時
	背景表示	黒、青、ロゴ	映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。
	スタートアップスクリーン	オン、オフ	スタートアップスクリーン（投写開始時に投写される映像）を表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。
	型番表示モード	オン、オフ	プロジェクターの型番を表示します。
設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り		設置状況に応じた投写方法を選択します。

機能	メニュー/設定値		説明
動作設定	ダイレクトパワーオン	オン、オフ	本機に電源コードを接続するだけで、ボタン操作なしに投写できるよう設定できます。 [オン] に設定しているときは、停電復旧時などに、電源コードが接続されていると、投写が開始されますので注意してください。
	スリープモード	オン、オフ	一定時間映像信号の入力がないときに、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。スタンバイ状態になっているときは、リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押すと投写を再開します。
	スリープモード時間	1~30	[スリープモード] で電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。
	イルミネーション	オン、オフ	部屋を暗くして映画などを鑑賞中に操作パネルのインジケータの点灯が気になるときは、本設定を [オフ] にします。
	高地モード	オン、オフ	標高約1500m以上でお使いの場合は [オン] にします。
	自動入力検出	オン、オフ	[オン] に設定すると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの入力信号を検出します。
待機モード	通信オフ、通信オン		[通信オン] に設定すると、スタンバイ状態でもネットワーク経由で本機の状態が監視できます。
言語	-		表示する言語を選択します。
初期化	はい、いいえ		[拡張設定] のうち、[設置モード]、[高地モード]、[待機モード]、[言語] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

■ ネットワークメニュー

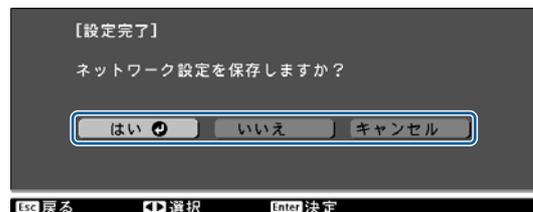
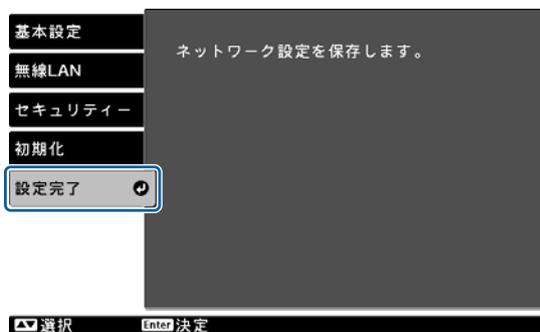
機能	メニュー/設定値		説明
Screen Mirroring	オン、オフ		Screen Mirroringの有効/無効を切り替えます。
Screen Mirroring情報	ディスプレイ名、MACアドレス、地域コード、バージョン		Screen Mirroringの情報を表示します。
Screen Mirroring設定	ディスプレイ名	-	([Screen Mirroring] が [オン] の場合のみ設定可能) 接続可能なデバイス一覧から本機を識別するための名前を入力します。
	パフォーマンス調整	1 (きれい)、2、3、4 (速い)	([Screen Mirroring] が [オン] の場合のみ設定可能) 映像の表示速度と品質を調整します。
	初期化	はい、いいえ	[Screen Mirroring設定] のすべての調整値を初期値に戻します。

機能	メニュー/設定値	説明
無線LAN電源	オン、オフ	無線LAN電源の有効/無効を切り替えます。
ネットワーク情報-無線LAN	-	以下のネットワークの設定状況を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続モード • 無線LAN方式 • アンテナレベル • プロジェクター名 • SSID • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • 地域コード
QRコード表示	-	([無線LAN電源] が [オン] の場合のみ設定可能) 本機のネットワーク情報をQRコードで表示します。
ネットワーク設定画面へ	-	ネットワークの設定メニューへ移行します。  p.77

ネットワークメニュー操作上のご注意

基本的な操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了する際には必ず [設定完了] メニューを選択し、設定を保存してください。



- [はい] : 設定を保存してネットワークメニューを終了します。
- [いいえ] : 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。
- [キャンセル] : ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定するときに、ソフトキーボードが表示されます。リモコンの     ボタンまたは操作パネルの     ボタンでキーを選択し、 ボタンを押して入力します。Finishを選択すると入力が確定し、Cancelを選択すると入力は取り消されます。



- CAPSキー： アルファベットキーの大文字/小文字を切り替えます。
 SYM1/2キー： 記号キーを切り替えます。

基本設定メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を入力します。
Remoteパスワード	8文字以内の半角英数字	スマートフォンやタブレット端末から本機を操作するときに必要な、認証用パスワードを設定します。
LAN情報表示	テキストとQRコード、テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。

無線LANメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
接続モード	かんたんモード、マニュアルモード	無線LANの接続方法を設定します。 [かんたんモード]：1台のスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと無線で直接接続できます。 [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。インフラストラクチャーモードで接続が構成されます。
チャンネル設定	1ch、6ch、11ch	([接続モード] が [かんたんモード] の場合のみ設定可能) 無線LANで使用する周波数の帯域を選択します。
SSID	32文字以内の半角英数字	([接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能) SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	([接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能) 無線LANアクセスポイントを検索します。 📶 は現在接続中のアクセスポイントを表します。🔒 はセキュリティが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティが設定されているアクセスポイントを選択するとセキュリティメニューに移行します。 🖱️ p.78

機能	メニュー/設定値	説明
IP設定 ([接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能)	DHCP	DHCPを使用する (オン) /しない (オフ) を設定します。[オン] に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
	IPアドレス	本機のIPアドレスを入力します。 以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。 以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
	ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
SSID表示	オン、オフ	LAN待機画面とホーム画面上にSSIDを表示する (オン) /しない (オフ) を設定します。
IPアドレス表示	オン、オフ	LAN待機画面とホーム画面上にIPアドレスを表示する (オン) /しない (オフ) を設定します。

セキュリティメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
セキュリティ	なし、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	セキュリティを設定します。 [かんたんモード] 時は [WPA2-PSK]、[マニュアルモード] 時は [WPA/WPA2-PSK] を選択できます。
パスワード	8～32文字の半角英数字	パスワードを入力します。 セキュリティを確保するために、定期的に変更することをお勧めします。

初期化メニュー

機能	説明
ネットワーク設定を初期化します。	[ネットワーク] のすべての調整値を初期値に戻します。

■ 情報メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
プロジェクター情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示します。
	入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
	入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
	入力解像度	入力解像度を表示します。
	走査方式	走査方式を表示します。
	リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。
	3D方式	3D映像投写時に入力されている信号の3D方式（フレームパッキング/サイドバイサイド/トップアンドボトム）を表示します。
	同期情報	映像信号の情報を表示します。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	Deep Color	Deep Colorを表示します。
	ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
	Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。  p.94
バージョン	Main	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
	Video2	
	Screen Mirroring	

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

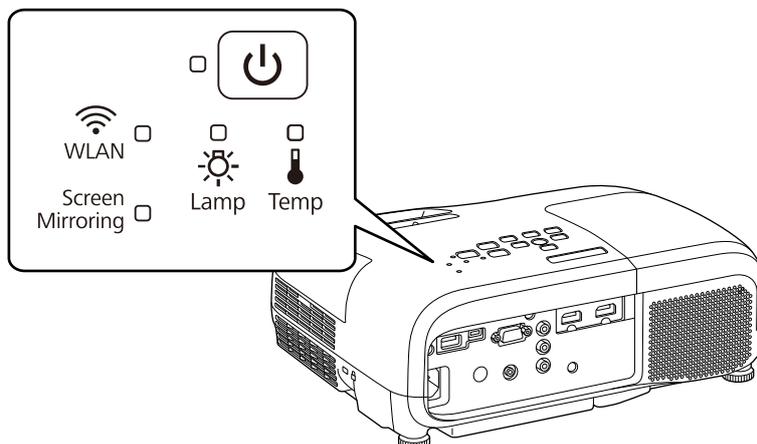
■ 初期化メニュー

機能	説明
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [メモリー]、[ランプ点灯時間]、[言語] と [ネットワーク] メニューのすべての調整値は初期値に戻りません。
メモリー初期化	[メモリー] のすべての項目を初期設定に戻します。
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積を [0 H] に戻します。ランプ交換をしたときに行ってください。

故障かなと思ったら

インジケータの見方

本機の状態は、操作パネルの 、（オペレーションインジケータ）、、、、 の点灯や点滅で確認できます。



次の表でインジケータの状態と対処方法を確認してください。

異常/警告時のインジケータの状態

: 点滅 : 点灯 : 状態維持 : 消灯

インジケータ	状態	対処方法
 (青)   (オレンジ)	ランプ交換勧告	ランプの交換時期です。速やかに新しいランプと交換してください。☞ p.99 このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。
 (青)   (オレンジ)	高温警告	このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。☞ p.96

インジケーター	状態	対処方法
 (青)  (オレンジ)	内部異常	<p>本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』</p>
 (青)  (オレンジ)	ファン異常 センサー異常	
 (青)  (オレンジ)	オートアイリス異常	
 (青)  (オレンジ)	電源系異常(バラスト)	
 (青)  (オレンジ)	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプカバー開放状態	<p>ランプに異常があるか、点灯に失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードを抜いてからランプが割れていないか確認します。☛ p.99 ランプが割れていなければ、ランプを再セットし、本機の電源を入れます。 ランプを再セットしても直らないときやランプが割れているときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』 ランプカバーがきちんと閉まっているか確認してください。

インジケータ	状態	対処方法
 <p>(青)</p> <p>(オレンジ)</p>	内部高温異常 (オーバーヒート)	<p>内部が高温になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約5分間そのままの状態待ちます。ファンが停止したら、電源コードを抜きます。 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。☛ p.96 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず [高地モード] を [オン] にしてください。☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.74 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』

■ 正常動作時のインジケータの状態

☉: 点滅 ●: 点灯 ○: 消灯

インジケータ	状態	対処方法
 <p>(青)</p>	スタンバイ状態	リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押すと、しばらくして投写を開始します。
 <p>(青)</p>	ウォームアップ中 クールダウン中	<p>ウォームアップの時間は約30秒です。ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。</p> <p>クールダウン中はすべての操作は無効になります。クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万一、クールダウン中に電源コードを抜いたときは、ランプが十分に冷えてから (約10分必要)、再び電源コードを接続し、リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押してください。</p>
 <p>(青)</p>	投写中	通常動作中です。



- 正常動作時は  と  インジケータは消灯しています。
- [イルミネーション] 機能が [オフ] の場合は正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。☛ [拡張設定] - [動作設定] - [イルミネーション] p.74

■ Screen Mirroringインジケータの状態

: 点滅 : 点灯 : 消灯

インジケータ	状態	説明
Screen Mirroring  (青)	接続待ち	Screen Mirroringを使用できません。
Screen Mirroring  (速い青点滅)	接続中	モバイルデバイスに接続中です。
Screen Mirroring  (遅い青点滅)	エラー	Screen Mirroringの異常状態です。[ネットワーク]メニューで [Screen Mirroring] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定します。
Screen Mirroring 	起動中 Screen Mirroring オフ	Screen Mirroringは使用できません。[ネットワーク]メニューで [Screen Mirroring] が [オン] に設定されていることを確認します。

■ 無線LANインジケータの状態

: 点滅 : 点灯 : 消灯

インジケータ	状態	説明
 WLAN  (青)	接続待ち	無線LAN接続ができません。
 WLAN  (速い青点滅)	接続中	無線LANで接続中です。
 WLAN  (遅い青点滅)	エラー	無線LANの異常状態です。[ネットワーク]メニューで [無線LAN電源] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定します。 問題が解決しないときは、次に記載の連絡先にお問い合わせください。☎ 『お問い合わせ先』
 WLAN 	起動中 無線LANオフ	無線LAN接続ができません。[ネットワーク]メニューで [無線LAN電源] が [オン] に設定されていることを確認します。

インジケータを確認してもわからないとき

■ 現象の確認

下記の表のうち、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先をご覧ください。

	現象	ページ
映像に関するトラブル	映像が表示されない 投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...	p.85
	コンピューターで再生する動画が表示されない	p.85
	「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	p.85
	「映像信号が入力されていません。」と表示される	p.85
	ぼやける、ピントが合わない	p.86
	ノイズが入る・乱れるなど...	p.86
	切れる（大きい）、小さい、映像の一部しか投写されないなど...	p.87
	色合いが違う 赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど... ※	p.87
	暗い	p.87
	自動的に投写が消える	p.88
投写開始時のトラブル	電源が入らない	p.88
リモコンでのトラブル	リモコンで操作できない	p.88
3Dでのトラブル	3Dで正しく投写できない	p.88
HDMIのトラブル	HDMIリンクで操作できない	p.89
	接続機器一覧に機器名が表示されない	p.90
ネットワークに関するトラブル	無線LANでネットワーク接続ができない	p.90
	ネットワーク経由で投写した映像が乱れる	p.90
	Screen Mirroringで接続できない	p.91
	Screen Mirroringの映像が乱れる	p.91
Bluetooth機器のトラブル	Bluetooth機器を接続できない	p.92
	Bluetooth機器の音声や接続が途切れる	p.92
その他のトラブル	音が出ない、小さい	p.93
	本体パネルで操作できない	p.93
	スライドショーが開始されない	p.93

※ コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

■ 映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押します。
電源コードを接続していますか？	電源コードを接続してください。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	本機の電源コードを抜いて、接続し直します。 接続後、電源ボタンを押して電気が供給されているか確認します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの [メッセージ表示] を [オン] に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。  [拡張設定] - [表示設定] - [メッセージ表示] p.74
環境設定メニューの設定が間違っていますか？	全初期化してみてください。  [初期化] - [全初期化] p.79
(コンピューター映像信号投写時のみ) 接続の作業を、本機やコンピューターの電源が入っている状態で行いましたか？	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn (ファンクション) キーが使えないことがあります。接続しているコンピューターと本機の電源を入れ直してください。

動画が表示されない

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) コンピューターの映像信号が外部と液晶モニター両方同時に出力されるように設定されていませんか？	コンピューターの仕様により映像を外部と液晶モニターに同時表示させると動画が表示されないことがあります。映像信号が外部のみに出力されるように切り替えてください。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) 映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？	環境設定メニューの [入力解像度] で入力中の映像信号を確認し、本機の解像度に対応しているか確認してください。  [情報] - [プロジェクター情報] p.79  p.103

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。  p.20
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの各入力ソースのボタンか操作パネルの  ボタンで映像を切り替えます。  p.28

確認	対処法
接続している機器の電源は入っていますか？	機器の電源を入れます。
(コンピューター映像信号投写時のみ) プロジェクターに映像信号が出力されていますか？	映像信号がコンピューターの液晶モニター以外(外部)にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn(ファンクション)キーが使えないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
フォーカスを調整しましたか？	フォーカス調整を行います。☛ p.30
レンズカバーが閉じていませんか？	レンズカバーを開けます。☛ p.27
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を確認してください。☛ p.18
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いてしばらく放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.20
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。
(コンピューター映像信号投写時のみ) [同期] / [トラッキング] は正しく調整されていますか？	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。この場合は、環境設定メニューの[トラッキング] / [同期] で調整します。☛ [映像] - [トラッキング] / [同期] p.70
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。☛ p.103

映像の一部が切れる（大きい）、小さい

確認	対処法
[アスペクト] は正しく選択していますか？	環境設定メニューの [アスペクト] で、入力信号に合ったアスペクトモードを選択してください。☛ [映像] - [アスペクト] p.70
[表示位置] は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [表示位置] で調整します。☛ [映像] - [表示位置] p.70
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。☛ p.103

色合いが違う

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.20 Video入力端子やPC入力端子の場合は、コネクターと同じ色のケーブル端子を接続します。☛ p.20
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。☛ [画質] - [コントラスト] p.69
適切に色の調整がされていますか？	環境設定メニューの [アドバンスト] を調整してください。☛ [画質] - [アドバンスト] p.69
(ビデオ機器の映像信号投写時のみ) 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [色の濃さ] / [色合い] を調整してください。☛ [画質] - [色の濃さ] / [色合い] p.69

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの [明るさ] を設定してください。☛ [画質] - [明るさ] p.69
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。☛ [画質] - [コントラスト] p.69
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p.99

自動的に投写が消える

確認	対処法
[スリープモード] が有効になっていませんか？	一定時間映像信号の入力がないときに、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押すと電源が入ります。[スリープモード] を無効にするときは、設定を [オフ] にします。  [拡張設定] - [動作設定] - [スリープモード] p.74

■ 投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押します。
[チャイルドロック] を [オン] に設定していませんか？	環境設定メニューの [チャイルドロック] を [オン] に設定している場合は、操作パネルの  ボタンを約3秒間押し続けるか、リモコンで操作します。  [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] p.72
電源コードを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	本機の電源を切り、電源コードを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。  『お問い合わせ先』

■ リモコンでのトラブル

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。また、操作可能範囲を確認してください。  p.26
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能範囲を確認してください。  p.26
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。  p.25

■ 3Dでのトラブル

3Dで正しく投写できない

確認	対処法
3Dメガネの電源が入っていますか？	3Dメガネの電源を入れてください。

確認	対処法
3D映像が投写されていますか？	本機が2D映像を投写しているときや、本体側のエラーなどで3D映像を投写していないときは3Dメガネをかけても3D映像を視聴できません。
入力映像が3Dに対応していますか？	入力映像が3Dに対応しているか確認してください。テレビ放送の多くは、3Dフォーマットの識別信号が含まれていないため、手動で設定する必要があります。
[3D表示] を [2D] に設定していませんか？	環境設定メニューの [3D表示] を [2D] に設定していると、3D入力信号で自動的に3Dに切り替わりません。  ボタンを押して [3D表示] を [3D] または [オート] に設定してください。☛ [映像] - [3D設定] - [3D表示] p.70
[3D方式設定] は正しく設定されていますか？	AV機器の3Dフォーマットと本機の [3D方式設定] が合っていないと映像の一部が切れて表示されます。AV機器の3Dフォーマットと本機の [3D方式設定] が合っていることを確認してください。☛ [映像] - [3D設定] - [3D方式設定] p.70 [3D方式設定] を変更するときは、[3D表示] を [オート] に設定してから  ボタンを押してください。
受信範囲で視聴していますか？	プロジェクターと3Dメガネの距離が10mを超えると、接続が途切れることがあります。3Dメガネをプロジェクターに近づけてください。
ペアリングは正常にできていますか？	3Dメガネの取扱説明書を参照し、ペアリングを実施してください。
電波干渉を引き起こす機器が周囲にありますか？	他のBluetooth通信機器や無線LAN (IEEE802.11b/g)、電子レンジなどの周波数帯 (2.4GHz) と同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。

■ HDMIのトラブル

HDMIリンクで操作できない

確認	対処法
HDMI規格に準拠したケーブルを使用していますか？	HDMI規格に適合していないケーブルでは動作しません。
HDMI CEC規格に対応した機器を接続していますか？	接続機器にHDMI端子がついていてもHDMI CEC規格に対応していないと操作できません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 また、  ボタンを押し、[接続機器一覧] で利用可能かどうか確認してください。☛ p.52
ケーブル類が正しく接続されていますか？	HDMIリンクを使うために必要なケーブル類が確実に接続されているか確認します。☛ p.51

確認	対処法
接続しているアンプやDVDレコーダーなどの電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源をスタンバイ状態にします。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 スピーカーなどを接続しているときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
新しく機器を接続したり、接続を変更しましたか？	新しく機器を接続したり接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直したり、再起動が必要な場合があります。
プレイヤーを何台も接続していませんか？	HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

接続機器一覧に機器名が表示されない

確認	対処法
接続機器がHDMI CEC規格に対応していますか？	接続機器がHDMI CEC規格に対応していないと表示されません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

■ ネットワークに関するトラブル

無線LANでネットワーク接続ができない

確認	対処法
【無線LAN電源】を【オフ】に設定していませんか？	環境設定メニューで【無線LAN電源】を【オン】に設定してください。すでに【オン】に設定されているときは、一度【無線LAN電源】を【オフ】に設定し、再度【オン】に設定してください。☛【ネットワーク】 - 【無線LAN電源】 p.75
パスフレーズは正しいですか？	パスフレーズは大文字小文字を区別するので、注意してください。設定したパスフレーズが不明な場合は再度設定しなおしてください。☛【ネットワーク設定】 - 【セキュリティー】 - 【パスフレーズ】 p.75
Event IDは確認しましたか？	Event IDの番号を確認し、次の対処法に従ってください。 ☛【情報】 - 【Event ID】 p.79 ☛ p.94

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

確認	対処法
アクセスポイントと接続機器の間に障害物がありますか？	アクセスポイントとモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。
アクセスポイントと接続機器の距離が離れすぎていませんか？	アクセスポイントとモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎているときは、近づけて接続してください。

確認	対処法
周囲にBluetooth機器や電子レンジがありませんか？	映像の表示が遅いときや、映像にノイズが入るときは、Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認し、干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保してください。
接続機器の数が多すぎませんか？	映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

Screen Mirroringで接続できない

確認	対処法
[Screen Mirroring] を [オフ] に設定していませんか？	環境設定メニューで [Screen Mirroring] を [オン] に設定してください。すでに [オン] に設定されているときは、一度 [Screen Mirroring] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定してください。☛ [ネットワーク] - [Screen Mirroring] p.75
ディスプレイ名に「-」が含まれていませんか？	[Screen Mirroring設定] の [ディスプレイ名] に「-」が含まれると、モバイルデバイスでプロジェクターのディスプレイ名が正しく表示されないことがあります。「-」が含まれない名前に変更してください。☛ [ネットワーク] - [Screen Mirroring設定] p.75
Screen Mirroringインジケータは青点灯していますか？	Screen Mirroringインジケータが青点灯し、Screen Mirroring待機画面が表示されていることを確認してください。☛ p.83
すでに他のモバイルデバイスが接続されていませんか？	すでに他のモバイルデバイスが接続されているときは、他のモバイルデバイスの接続を解除してください。
モバイルデバイスの設定は正しいですか？	モバイルデバイスの設定が正しいことを確認してください。設定が正しい場合は、モバイルデバイスを再起動してください。
Screen Mirroring接続の終了直後に再接続していませんか？	Screen Mirroring接続を終了した直後に再接続するときは、接続までに時間がかかることがあります。しばらくしてから再接続してください。
モバイルデバイスの接続履歴から接続していませんか？	一度Screen Mirroringで接続すると、モバイルデバイスに本機の接続情報が履歴として記録されることがありますが、履歴からは再接続できないことがあります。接続可能なデバイスの一覧から、再度本機を選択してください。
Intel WiDi搭載機器で5GHz帯の無線LANを使っていませんか？	Intel WiDi搭載機器で5GHz帯の無線LANをお使いのときは、Screen Mirroring接続を同時に使用できません。無線LAN接続をオフにしてScreen Mirroringを接続してください。

Screen Mirroringの映像が乱れる

確認	対処法
モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部が隠れていませんか？	モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部付近が隠れているときは、アンテナ部付近を隠さないようにしてください。

確認	対処法
モバイルデバイスをインターネットに接続していませんか？	モバイルデバイスでScreen Mirroringとインターネット接続を同時に行うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。無線帯域を確保し、モバイルデバイスの通信速度を向上させるために、インターネット接続を停止してください。
投写するコンテンツに問題はありませんか？	Screen Mirroringで投写できるコンテンツには制限があります。投写するコンテンツに問題が無いことを確認してください。👉 p.63
モバイルデバイスに省電力設定がされていませんか？	モバイルデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。デバイスの省電力設定などを確認してください。
モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアは最新の状態ですか？	モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアのバージョンが古いときは、最新のバージョンに更新してください。

■ Bluetooth機器のトラブル

Bluetooth機器を接続できない

確認	対処法
機器検索を実行しましたか？	Bluetooth機器をはじめて接続するときや、別のBluetooth機器に切り替えるときには、[Bluetooth機器検索] を実行してください。👉 p.22
著作権保護（SCMS-T）対応機器ですか？	著作権保護（SCMS-T）に対応していないBluetooth機器は接続できません。
A2DPに準拠していますか？	A2DPに対応していないBluetooth機器は接続できません。

Bluetooth機器の音声や接続が途切れる

確認	対処法
プロジェクターとBluetooth機器の間に障害物はありませんか？	プロジェクターとBluetooth機器の間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。
通信可能距離内で接続していますか？	プロジェクターとBluetooth機器の距離が10mを超えると、音声や接続が途切れることがあります。Bluetooth機器をプロジェクターに近づけてください。
周囲に無線機器や電子レンジがありませんか？	無線機器や電子レンジと同時に使用すると、電波干渉が発生し、音声や接続が途切れることがあります。干渉の可能性がある機器を遠ざけてください。

■ その他のトラブル

音が出ない、小さい

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	Audio (L-R)端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。  p.33
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
〔音声出力機器〕の設定は正しいですか？	環境設定メニューで〔音声出力機器〕の設定が正しいことを確認してください。  [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] p.72
〔Bluetoothオーディオ〕の設定は正しいですか？	Bluetoothオーディオ機器を接続しているときは、次のように設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 本体スピーカーまたはAVアンプから音声を出力するときは、〔Bluetoothオーディオ〕を〔オフ〕に設定してください。 • Bluetoothオーディオ機器から音声を出力するときは、〔Bluetoothオーディオ〕を〔オン〕に設定してください。  [設定] - [Bluetooth] - [Bluetoothオーディオ] p.72

本体パネルで操作できない

確認	対処法
〔操作ボタンロック〕を〔全ロック〕または〔操作ロック〕に設定していませんか？	環境設定メニューの〔操作ボタンロック〕を〔全ロック〕に設定していると、操作パネルのすべてのボタン操作が、〔操作ロック〕に設定していると、操作パネルの  ボタン以外のボタン操作が無効になります。リモコンで操作してください。  [設定] - [ロック設定] - [操作ボタンロック] p.72

スライドショーが開始されない

確認	対処法
セキュリティー機能が付いているUSBストレージデバイスを使用していませんか？	セキュリティー機能が付いているUSBストレージデバイスは、使用できないことがあります。

Event ID について

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

☛ 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0021	ScreenMirroring の起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0022 0027 0028 0029 0030 0031 0035 0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0023 0024 0025	接続に失敗しました。	コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写映像の右下に表示されているPINコードを入力してください。それでも解決しないときは、接続機器とプロジェクターを再起動し、設定内容を確認してください。
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
0483 04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。 ☛ [ネットワーク設定] - [無線LAN] - [IP設定] - [DHCP] p.75

Event ID	要因	対処法
0020 0026 0032 0036 0037 0038 0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。 ➡ 『お問い合わせ先』

お手入れの方法

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

警告

本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

■ エアフィルターの掃除

エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。

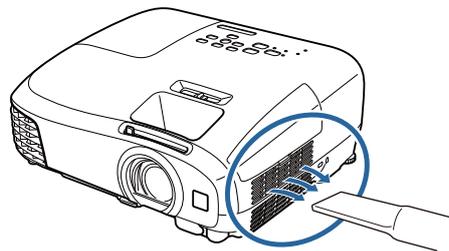
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3か月に一度はエアフィルターの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入り込み取れなくなります。

1 リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押し電源を切り、電源コードを抜きます。

2 掃除機でエアフィルターのホコリを表側から吸い取ります。



■ 本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ レンズの掃除

レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

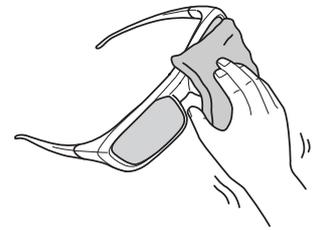
レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。

■ 3Dメガネの掃除

メガネレンズの汚れは、3Dメガネに同梱のクリーナーで軽くふき取ってください。

注意

- メガネレンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。
- お手入れの際には、USB充電AC電源アダプターをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してから行ってください。



3Dメガネには充電電池が含まれています。廃棄するときは、地域の廃棄ルールに従ってください。

消耗品の交換時期

■ エアフィルターの交換時期

- エアフィルターの掃除を行っても交換メッセージが表示される時  [p.96](#)

■ ランプの交換時期

- 投写開始時に、次のメッセージが表示されたとき
「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jp をご覧ください。」
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約3900時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使用の状況により変わります。
交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト（通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。

消耗品の交換

■ エアフィルターの交換方法



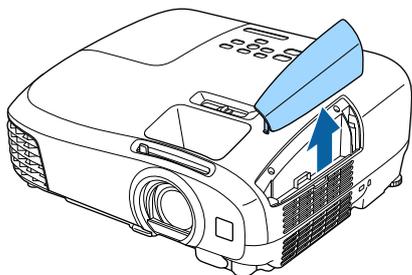
使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
フィルター枠：ABS
フィルター：ポリウレタンフォーム

1

リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押し電源を切り、電源コードを抜きます。

2

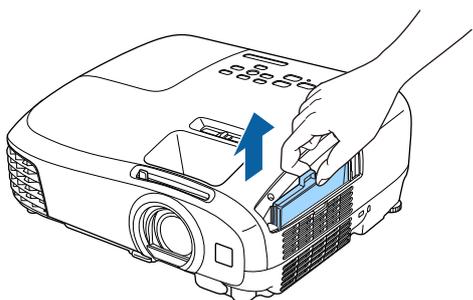
エアフィルターカバーを開けます。



3

古いエアフィルターを取り外します。

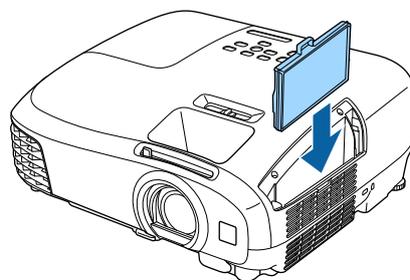
タブに指をかけてまっすぐ引き出します。



4

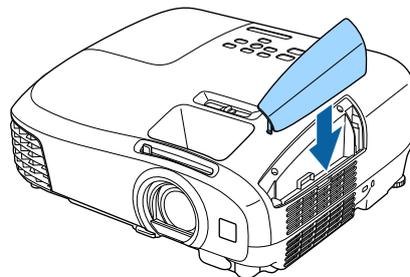
新しいエアフィルターを取り付けます。

外側からエアフィルターをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



5

エアフィルターカバーを閉めます。



■ ランプの交換方法

⚠ 警告

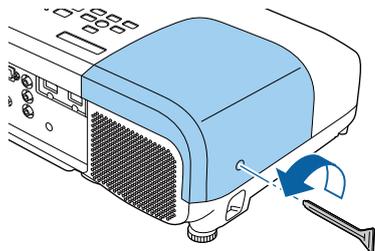
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

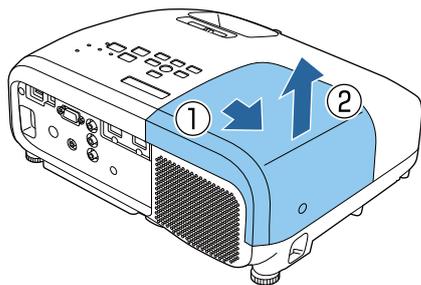
- 電源を切った直後はランプカバーが熱くなっていますので、触らないようにしてください。ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱でけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの性能をフルに発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のものを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

1 リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押し電源を切り、電源コードを抜きます。

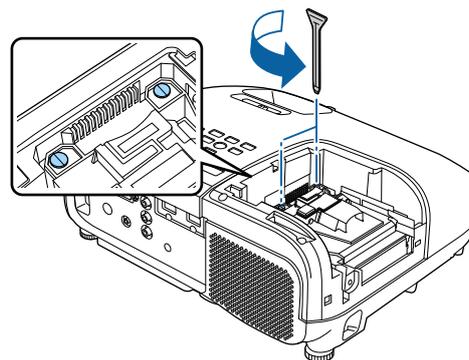
2 ランプカバー固定ネジをゆるめます。



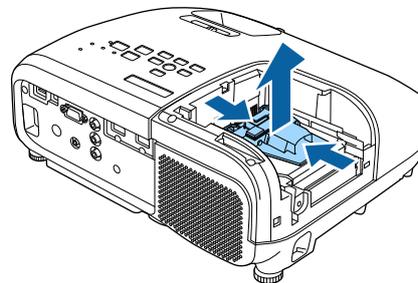
3 ランプカバーを取り外します。
ランプカバーをまっすぐスライドさせて外します。



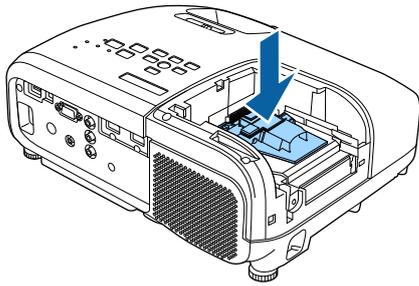
4 ランプ固定ネジ2本をゆるめます。



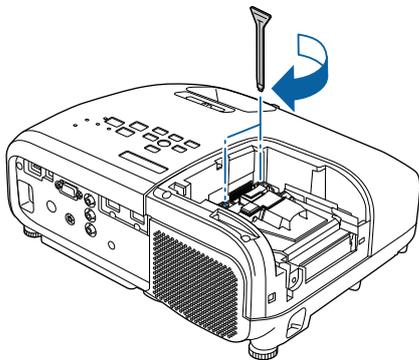
5 古いランプを取り出します。
突起部をつまんでまっすぐ引き抜きます。



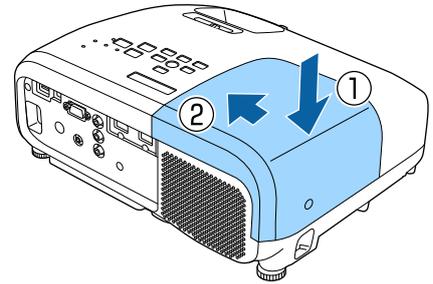
- 6 新しいランプを取り付けます。
向きを合わせて押し込みます。



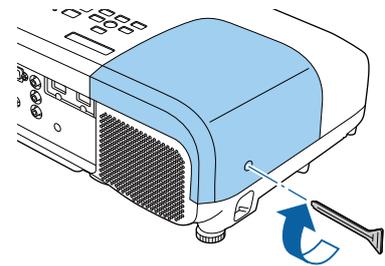
- 7 ランプ固定ネジ2本をしっかりと締めます。



- 8 ランプカバーを取り付けます。
スライドさせながらカバーを取り付けます。



- 9 ランプカバー固定ネジを締めます。



警告

ランプの分解・改造は絶対しないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

注意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀 (Hg) が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

■ ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達すると、メッセージやインジケータでお知らせします。

- 1 電源を入れます。

- 2  ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。

3

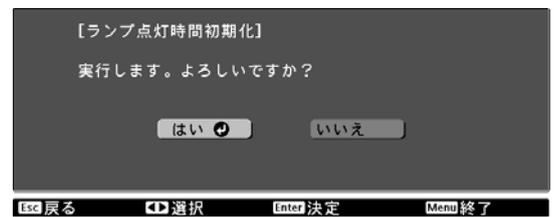
【初期化】 - 【ランプ点灯時間初期化】を選択します。

初期化を確認する画面が表示されます。



4

◀▶ ボタンで [[はい]] を選択し、Enter ボタンを押して実行します。
ランプ点灯時間が初期化されます。



オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション・消耗品類は2015年5月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

名称	型番	説明
天吊り金具（ホワイト）※	ELPMB23	本機を天井に取り付けるときに使います。
パイプ450（450mmホワイト）※	ELPFP13	高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
パイプ700（700mmホワイト）※	ELPFP14	
RF方式3Dメガネ	ELPGS03	3Dの映像を楽しむときに購入してください。
USB充電AC電源アダプター	ELPAC01	3Dメガネを充電するときに使います。
コンピューターケーブル（1.8m）	ELPKC02	コンピューターの画面を投写するときに使います。
コンピューターケーブル（3.0m）	ELPKC09	
コンピューターケーブル（20.0m）	ELPKC10	

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

消耗品

名称	型番	説明
交換用ランプ	ELPLP88	使用済みランプと交換します。（ランプ1個）
エアフィルター	ELPAF32	使用済みのエアフィルターと交換します。（エアフィルター1枚）

対応解像度一覧

コンピューター映像 (アナログRGB)

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SVGA	60	800 x 600
XGA	60	1024 x 768
SXGA	60	1280 x 960
	60	1280 x 1024
WXGA	60	1280 x 768
	60	1366 x 768
	60	1280 x 800
WXGA++	60	1600 x 900

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
TV (NTSC)	60	720 x 480
TV (SECAM)	50	720 x 576
TV (PAL)	50/60	720 x 576

HDMI 1/HDMI 2入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 x 1080

MHL入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30	1920 x 1080

3D入力信号 HDMI

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	3Dフォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV750p (720p)	50/60	1280 x 720	✓	✓	✓
HDTV1125i (1080i)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV1125p (1080p)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV1125p (1080p)	24	1920 x 1080	✓	✓	✓

3D入力信号 MHL

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	3Dフォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV750p (720p)	50/60	1280 x 720	-	✓	✓
HDTV1125i (1080i)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV1125p (1080p)	50/60	1920 x 1080	-	-	-
HDTV1125p (1080p)	24	1920 x 1080	-	✓	✓

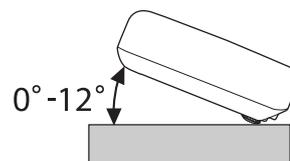
仕様一覧

商品名	EH-TW5350	
外形寸法	297 (幅) x 119 (高さ) x 249 (奥行き) mm	
パネルサイズ	0.61型ワイド	
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス	
画素数	横1920 x 縦1080 x 3	
フォーカス調整	手動	
ズーム調整	手動 (約1 - 1.2)	
ランプ (光源)	UHEランプ 定格200W、型番: ELPLP88	
ランプ交換目安	3900時間	
電源	100 - 240 V AC±10%、50/60 Hz、3.1 - 1.4 A	
消費電力	100 - 120 Vエリア	定格消費電力: 307 W
		待機時消費電力 (通信オン): 2.1 W
		待機時消費電力 (通信オフ): 0.21 W
	220 - 240 Vエリア	定格消費電力: 291 W
		待機時消費電力 (通信オン): 2.4 W
		待機時消費電力 (通信オフ): 0.28 W
動作高度	標高0~3000 m	
動作温度範囲	+5~+35°C※ (結露しないこと)	
保存温度範囲	-10~+60°C (結露しないこと)	
質量	約3.1kg	
接続端子	PC入力端子x1系統、ミニD-sub 15pin (メス) 青色	
	HDMI入力端子x2系統、HDMI HDCP対応、CEC信号対応、MHL信号対応(HDMI1入力端子のみ)、3D信号対応、リニアPCM対応、Deep Color	
	Video入力端子x1系統、RCAピンジャック	
	音声入力 (L-R) 端子x1系統、RCAピンジャック	
	USB 2.0 TypeA端子x1系統	
	Audio Out端子x1系統、ステレオミニピンジャック	
スピーカー	最大入力5 W x 1	

※ 標高2287m~3000mで使用する場合は+5~+30°C。

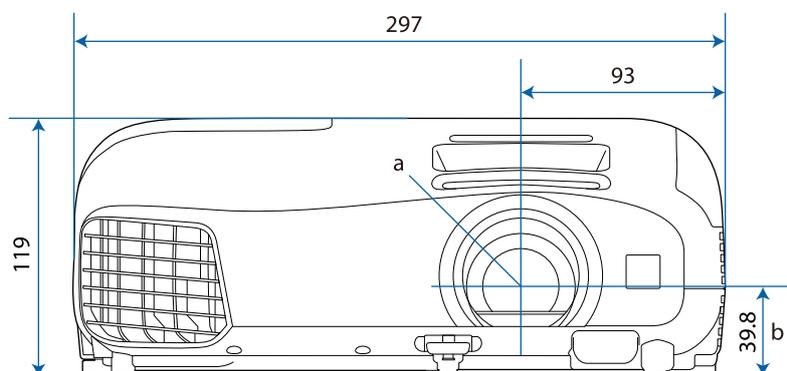
傾斜角度

12°以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります

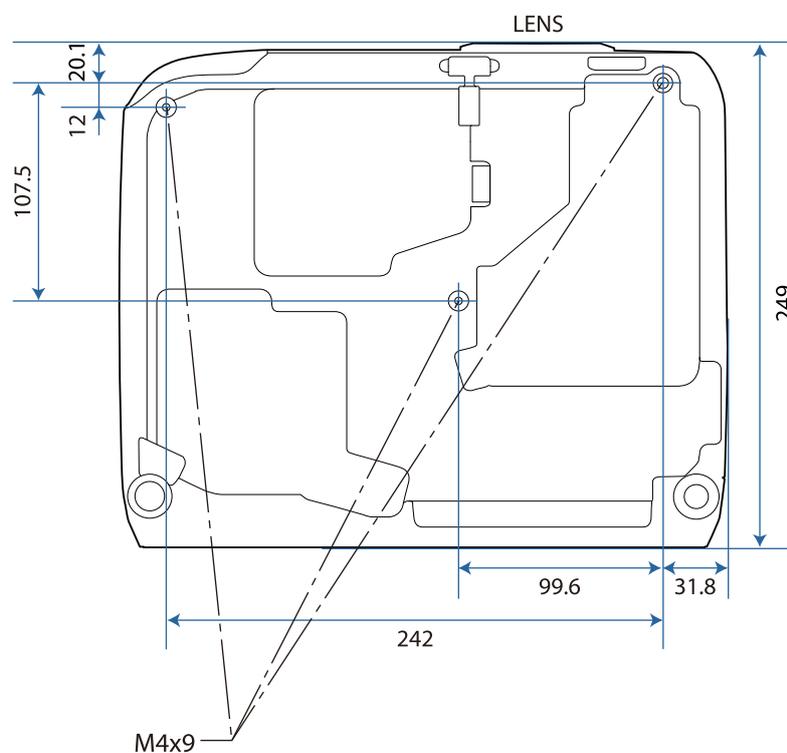


外形寸法図

単位：mm



- a レンズ中心
- b レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



安全規格対応シンボルマークについて

製品上に以下のシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
	IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
	IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通电状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
	ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
	IEC60417 No.5041	注意 (高温) 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
	IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意 (感電危険) 感電 (電撃) の危険性がある機器・装置であることを示す。
	IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
	IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。
	---	
	IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
	IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
	---	
	IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃 (感電) 保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
	IEC60417 No.5017	アース Ⓧ の使用が明示的に要請されない場合の接地 (アース) 端子であることを示す。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5172	クラスⅡ 機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ 機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
	ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	---	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	---	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
	ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
	ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略で、DVIやHDMI端子を經由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 HDMI™はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） • 画面のアスペクトは16：9・ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力）
MHL	Mobile High-definition Linkの略で、モバイル端末で映像信号の高速伝送を実現する、高精細映像向けの接続インターフェースの規格のことをいいます。 MHLはスマートフォンやタブレット端末をターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま伝送し、電源供給も行います。
NTSC	National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。
PAL	Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SECAM	SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのを呼びます。
YCbCr	SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。
YPbPr	HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4：3です。

インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へひとつ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
ペアリング	Bluetooth機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。

一般のご注意

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標について

EPSONおよびELPLPはセイコーエプソン株式会社の商標または登録商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Bluetopia® is provided for your use by Stonestreet One, LLC® under a software license agreement. Stonestreet One, LLC® is and shall remain the sole owner of all right, title and interest whatsoever in and to Bluetopia® and your use is subject to such ownership and to the license agreement. Stonestreet One, LLC® reserves all rights related to Bluetopia® not expressly granted under the license agreement and no other rights or licenses are granted either directly or by implication, estoppel or otherwise, or under any patents, copyrights, mask works, trade secrets or other intellectual property rights of Stonestreet One, LLC®.

© 2000-2012 Stonestreet One, LLC® All Rights Reserved.

MHL、MHLのロゴ、および Mobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL、LLCの商標または登録商標です。

Miracast™、WPA™、WPA2™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Intel®は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google Playは、Google Inc.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2015. All rights reserved.

数字・アルファベット

2画面	55, 72
3D明るさ調整	70
3D映像	44
3D設定	70
3D表示	70
3D変換	47
3D方式設定	70
3Dメガネ	45
3Dメガネ左右反転	70
3Dメガネの掃除	97
Bluetooth機器の接続	22
CEC規格	51
DHCP	78
Event ID	94
HDMI端子	51
HDMIリンク	51
IPアドレス	78
IPアドレス表示	78
IP設定	78
RGB	70
RGBCMY	39, 70
RGBの調整	39
SSID	77
SSID表示	78
USB	53
USB機器の接続	21

ア

明るさ	69
明るさ切替	70
アクセスポイント検索	77
アスペクト	36, 70
アドバンスト	70, 71
異常/警告インジケータ	80
イメージ強調	37, 69
イルミネーション	75
色合い	69
色温度	69
色の濃さ	69
インジケータ	80
エアフィルターの掃除	96
エアフィルター	96
エアフィルターカバー	98
エアフィルターの交換	98
エアフィルターの交換時期	97
映像メニュー	70
オートアイリス	38, 70
オーバースキャン	71
オフセット	39, 70
音量	33, 72

カ

外形寸法	106
外部スピーカーの接続	22
拡張設定メニュー	74
画質	35
画質メニュー	69
型番表示モード	74
傾き調整	31
カラーモード	35, 69
環境設定メニュー	68
基本設定メニュー	77
クールダウン	29
ゲイン	39, 70
ゲートウェイアドレス	78
言語	75
交換時期	97
高地モード	75
コントラスト	69
コンピューターの接続	20

サ

彩度	39, 70
サブネットマスク	78
サブメニュー	68
色相	39, 70
視聴注意の表示	70
自動絞り	38
自動タテ補正	32, 72
自動調整	71
シャープネス	37, 69
写真	53
仕様一覧	105
情報メニュー	79
消耗品の交換	98
消耗品の交換時期	97
初期化	70, 71, 74, 75
初期化メニュー	78, 79
ズーム	36
ズーム調整	30
ズームリング	9
スタートアップスクリーン	74
スマートフォン・タブレット端末の接続	21
スライド式ヨコ補正	32, 72
スライドショー	53
スリープモード	75
セキュリティー	78
セキュリティーメニュー	78
接続	20
接続モード	77
設置モード	74
設定メニュー	72

全初期化	79
操作パネル	9, 10
操作範囲	26
操作ボタンロック	73
ソフトキーボード	76

タ

対応解像度	103
待機モード	75
台形補正	72
ダイレクトパワーオン	75
高さ調整	31
タテ補正	72
タテヨコ	72
タテヨコ補正	32
チャイルドロック	73
チャンネル設定	77
テストパターン表示	30
電源	27, 29
点灯時間	100
同期	71
動作設定	75
投写サイズ	18
投写サイズの調整	30
トップメニュー	68
トラッキング	71

ナ

入力ソース	28
ネットワークメニュー	75
ノイズ	86

ハ

バージョン	79
背景表示	74
パスフレーズ	78
ビデオ機器の接続	20
表示位置	71
表示設定	74
ピント	86
ピント調整	30
フォーカス調整	30
フォーカスリング	9, 30
フル	36
Bluetooth	73
フレーム補間	69
ペアリング	46
ホーム画面	28
ボリューム	33
本体の掃除	96

マ

無線LANメニュー	77
明度	39, 70
メッセージ表示	74
メニュー	68
メモリー	74
メモリー機能	41
メモリー削除	42
メモリー初期化	42, 79
メモリー登録	41
メモリー名称変更	42
メモリー呼出	41

ヤ

ユーザーボタン	73
ヨコ補正	72
ヨコ補正スライダー	10

ラ

ランプカバー	9, 99
ランプカバー固定ネジ	99
ランプ点灯時間初期化	79, 100
ランプの交換	99
ランプの交換時期	97
リモコン	12, 25
レンズの掃除	97
ロック設定	73